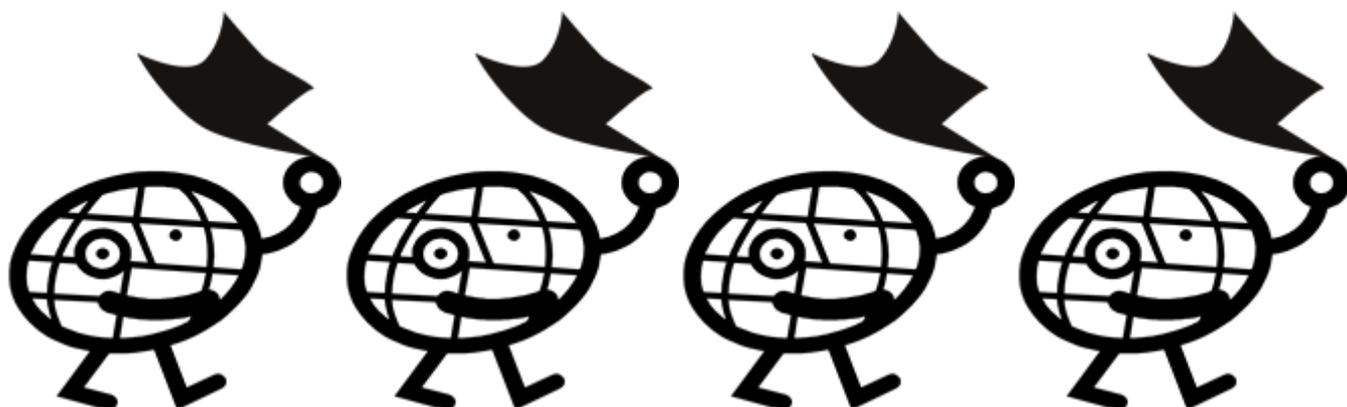


令和7年度第4回

新宿区

区政モニターアンケート報告書

テーマ 『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に
向けて ～新宿区総合計画～



新宿区

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 集計・分析結果を読む際の注意点	1
4 回答者の属性.....	2
II 調査の結果	5
基本政策Ⅰ 暮らしやすさ1番の新宿	5
<地域福祉>	5
(1) 高齢者・障害者の見守りに関する意識.....	5
<障害者福祉>.....	6
(1) 障害者の社会参加のしやすさ	6
(2) 障害者が社会参加しやすいまちだと思える点	7
(3) 「障害者差別解消法」の認知状況.....	8
<地域活動>	9
(1) 地域活動への参加	9
基本政策Ⅱ 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化	13
<防災対策>	13
(1) 避難場所・避難所の理解度.....	13
(2) 家庭内の防災対策	15
(3) 防災対策の内容	16
<安全・安心>.....	18
(1) 犯罪への不安.....	18
(2) 不安を感じる理由	19
<安全な消費生活>	20
(1) 消費者問題への関心度	20
(2) 区の消費生活センターへの相談.....	21
<感染症予防>.....	22
(1) 手洗い習慣	22
(2) 「咳エチケット」の実施	26
(3) 食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況.....	27
基本政策Ⅲ 賑わい都市・新宿の創造	28
<新宿駅周辺の回遊性>	28
(1) 新宿駅周辺の歩きやすさ.....	28
(2) 新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由	29
<美しいまちづくり>.....	30
(1) 新宿区全体の景観に対する区民意識	30

<地域特性をふまえたまちづくり>	31
(1) 地域の特性をふまえたまちづくりへの意識	31
<安全で快適な道路>	32
(1) 道路の歩きやすさの満足度	32
(2) 安全で快適な道路だと思わない理由	33
<公園整備>	34
(1) 公園の利用状況	34
(2) 公園の満足度	35
(3) 公園を利用しない理由	36
<環境>	37
(1) 環境配慮のために実施していること	37
(2) 再生可能エネルギー電力等を導入していない理由	39
<文化・芸術>	41
(1) 新宿区の伝統文化や文化財への関心度	41
(2) 関心のある事柄	42
(3) 文化・芸術に触れる機会の有無	45
(4) 関心のある内容	47
<スポーツ・生涯学習等の実施状況>	49
(1) スポーツ・生涯学習等の実施状況	49
(2) スポーツ・生涯学習等の頻度	51
<スポーツ・運動の実施状況>	52
(1) スポーツ・運動の頻度	52
<多文化共生>	53
(1) 多文化共生の進捗度	53
(2) 「しんじゅく多文化共生プラザ」の認知度	54
(3) 「しんじゅく多文化共生プラザ」でより力を入れた方がよい取組	55
<平和に関する意識>	56
(1) 平和啓発事業の認知度	56
(2) 平和の大切さ	57
基本政策Ⅳ 健全な区財政の確立	58
<ICTの利活用>	58
(1) DXの取り組みへの満足度	58
(2) 行政サービスとして進めてほしいもの	59
(3) 窓口受付支援システムの利用希望	61
基本政策Ⅴ 好感度1番の区役所	62
<行政サービス>	62
(1) 行政サービスの印象	62

その他	64
<新宿区自治基本条例>	64
(1) 新宿区自治基本条例の認知度	64
(2) 自治において大切だと思うこと	65
<区政モニターアンケートで調査する「新宿区総合計画」の指標値>	66
Ⅲ 資料（調査票）	68

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、今日的な区政課題への迅速な対応の検討や的確な事業執行を進める上での基礎資料とするため、区政モニターの方を対象にアンケート調査を実施し、今後の区政運営の参考とするものである。

2 調査の概要

《第4回》	調査対象	区政モニター 987名
	調査内容	『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～
	調査期間	令和7年10月31日～令和7年11月14日
	調査方法	郵送配布・郵送回収
	回答数	874票（回収率 88.6%）

3 集計・分析結果を読む際の注意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表している。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。
- 「MT」は、「Multiple Total」の略で、複数回答の合計数を示している。
- 回答はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、その数値の合計は100%を前後する場合がある。
- 複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがある。
- 複数の選択肢をあわせた項目の構成比（%）は、その選択肢の選択者数を基数で除して算出している。そのため、各選択肢の構成比を足し上げた数値と差が生じることがある。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表す。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していない。よって「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合がある。

統計の数値を考察するにあたり、本報告書では次の表現を用いる。

（例）	⇒	（表現）
80.1～80.9%	⇒	約8割
81.0～82.9%	⇒	8割強
83.0～84.9%	⇒	8割台半ば近く
85.0～85.9%	⇒	8割台半ば
86.0～87.9%	⇒	8割台半ばを超え
88.0～88.9%	⇒	9割近く
89.0～89.9%	⇒	9割弱

I 調査の概要

○ライフステージの名称及び内容は、以下のとおりである。

独身期：40歳未満の独身者

家族形成期：子どものいない40歳未満の夫婦、または一番上の子どもが入学前の人

家族成長前期：一番上の子どもが小・中学生の人

家族成長後期：一番上の子どもが高校・大学生の人

家族成熟期：64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人

(生計を別にした子どもがいる人を含む)

高齢期：65歳以上の人(生計を別にした子どもがいる人を含む)

その他：40歳から64歳の独身者、子どものいない40歳から64歳の夫婦など

4 回答者の属性

(1) 居住地域

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 四谷	97	11.1	6 戸塚	99	11.3
2 簗笥町	129	14.8	7 落合第一	87	10.0
3 榎町	91	10.4	8 落合第二	84	9.6
4 若松町	83	9.5	9 柏木	68	7.8
5 大久保	98	11.2	10 角筈・区役所	38	4.3
			計	874	100.0%

(2) 性別

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 男性	339	38.8	3 自由回答	1	0.1
2 女性	457	52.3	無回答	77	8.8
			計	874	100.0%

(3) 年齢

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 18～19歳	4	0.5	9 55～59歳	80	9.2
2 20～24歳	18	2.1	10 60～64歳	86	9.8
3 25～29歳	29	3.3	11 65～69歳	68	7.8
4 30～34歳	52	5.9	12 70～74歳	54	6.2
5 35～39歳	54	6.2	13 75～79歳	63	7.2
6 40～44歳	70	8.0	14 80歳以上	68	7.8
7 45～49歳	96	11.0	無回答	9	1.0
8 50～54歳	123	14.1	計	874	100.0%

(4) 職業

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 会社員・団体職員	347	39.7	5 学生	18	2.1
2 会社役員・団体役員	49	5.6	6 専業主婦・主夫	104	11.9
3 パート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など	116	13.3	7 無職	137	15.7
			8 その他	5	0.6
4 自営業、自由業	88	10.1	無回答	10	1.1
			計	874	100.0%

(5) 職場や学校の所在地

選択肢	回答数	割合 (%)
1 新宿区内	241	39.0
2 新宿区外	370	59.9
無回答	7	1.1
計	618	100.0%

(6) 同居している家族等

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 子	325	37.2	6 兄弟姉妹	25	2.9
2 妻または夫	513	58.7	7 その他	27	3.1
3 親	84	9.6	8 ひとり暮らし	199	22.8
4 祖父母	2	0.2	無回答	17	1.9
5 孫	10	1.1	回答総計	1,202	137.5%
			計	874	100.0%

(7) 同居者数

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 1人	308	46.8	4 4人	28	4.3
2 2人	195	29.6	5 5人以上	10	1.5
3 3人	117	17.8	無回答	0	0.0
			計	658	100.0%

(8) 同居している子

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 一番上の子が小学校入学前	55	16.9	4 一番上の子が学校を卒業	98	30.2
2 一番上の子が小・中学生	88	27.1	無回答	13	4.0
3 一番上の子が高校・大学生	71	21.8	計	325	100.0%

I 調査の概要

(9) 新宿区での居住年数

選択肢		回答数	割合 (%)	選択肢		回答数	割合 (%)
1	1年未満	0	0.0	5	10年以上20年未満	204	23.3
2	1年以上3年未満	62	7.1	6	20年以上30年未満	139	15.9
3	3年以上5年未満	59	6.8	7	30年以上	276	31.6
4	5年以上10年未満	122	14.0		無回答	12	1.4
				計		874	100.0%

(10) 住居形態

選択肢		回答数	割合 (%)
一戸建て	1 持ち家の一戸建て	203	23.2
	2 賃貸の一戸建て	9	1.0
	3 社宅・公務員官舎の一戸建て	7	0.8
	4 その他	4	0.5
集合住宅	5 分譲マンション・アパート（自己所有のものを含む）	309	35.4
	6 賃貸マンション・アパート	241	27.6
	7 賃貸のUR都市機構（旧公団）・公社のマンション・アパート	4	0.5
	8 賃貸の都営・区営住宅	37	4.2
	9 社宅・公務員官舎	22	2.5
	10 その他	3	0.3
無回答		35	4.0
計		874	100.0%

(11) ライフステージ

選択肢		回答数	割合 (%)	選択肢		回答数	割合 (%)
1	独身期	93	10.6	5	家族成熟期	58	6.6
2	家族形成期	72	8.2	6	高齢期	253	28.9
3	家族成長前期	88	10.1	7	その他	227	26.0
4	家族成長後期	69	7.9		無回答	14	1.6
				計		874	100.0%

Ⅱ 調査の結果

基本政策Ⅰ 暮らしやすさ1番の新宿

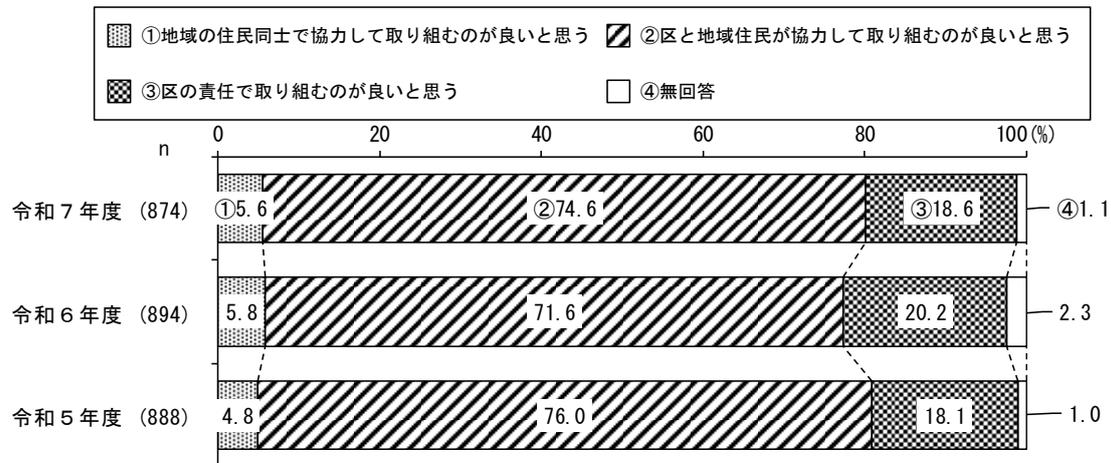
<地域福祉>

(1) 高齢者・障害者の見守りに関する意識

◎「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」が7割台半ば近く

問1	あなたは、高齢者や障害のある人などを見守り支えるための取組を、どのように推進していくのが良いと思いますか。(〇は1つ)	(n=874)
1	地域の住民同士で協力して取り組むのが良いと思う	5.6%
2	区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う	74.6
3	区の責任で取り組むのが良いと思う	18.6
	無回答	1.1

図1-1-1 高齢者・障害者の見守りに関する意識
(経年推移)



高齢者・障害者の見守りに関する意識は、「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」(74.6%)が7割台半ば近くと最も高くなっている。

過去3年間の経年推移をみると、「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」では、令和5年度(76.0%)から令和6年度(71.6%)にかけて4.4ポイント低くなっているものの、令和6年度(71.6%)から令和7年度(74.6%)にかけて3.0ポイント高くなっている。

(図1-1-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
区民の地域福祉活動への協働意識	「高齢者の見守りを住民同士で行う」と考える区民の割合	支え合いの仕組みづくりの進捗度を表すため	8.5%	5.6%	20.0%

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

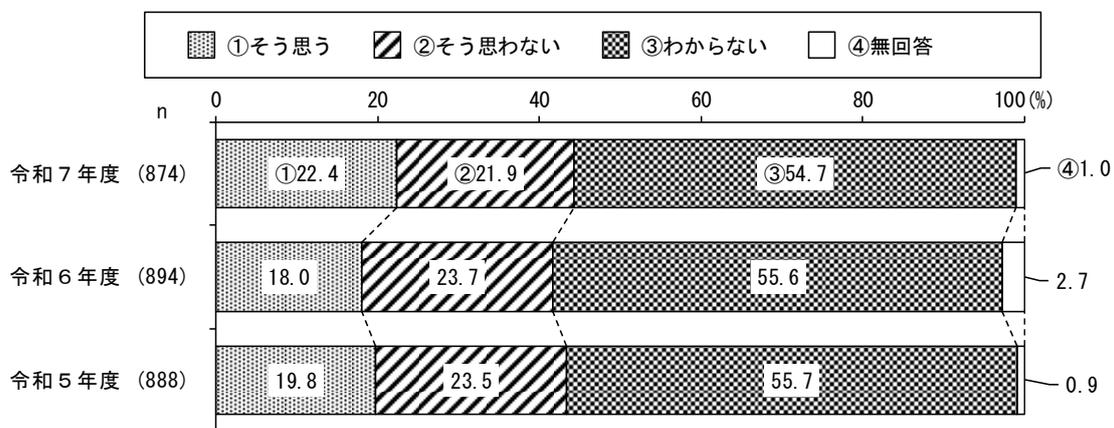
<障害者福祉>

(1) 障害者の社会参加のしやすさ

◎「そう思う」が2割強

問2 新宿のまちは、障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思いますか。		(n=874)
(〇は1つ)		
1	そう思う	22.4%
2	そう思わない	21.9
3	わからない	54.7
	無回答	1.0

図1-2-1 障害者の社会参加のしやすさ
(経年推移)



障害者の社会参加のしやすさは、「そう思う」(22.4%)が2割強、「そう思わない」(21.9%)が2割強、「わからない」(54.7%)が5割台半ば近くとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、「そう思う」では、令和5年度(19.8%)から令和6年度(18.0%)にかけて1.8ポイント低くなっているものの、令和6年度(18.0%)から令和7年度(22.4%)にかけて4.4ポイント高くなっている。(図1-2-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

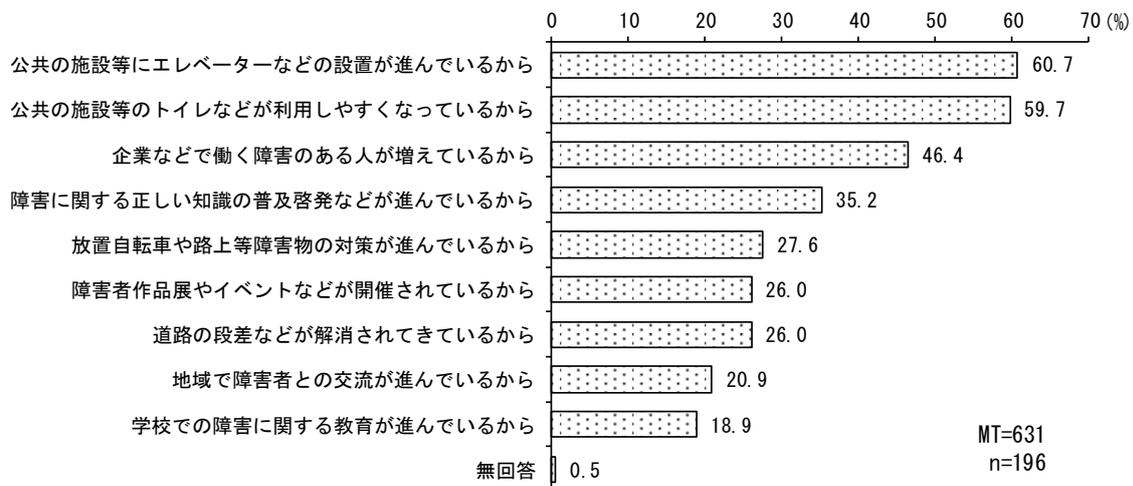
指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
障害者の社会参加のしやすさ	障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思う割合	障害者の自立と社会参加がしやすいまちの実現につながるため	14.8%	22.4%	増加

(2) 障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ点

◎「公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから」が約6割

問2-1	問2で、「1」に○をした方にお伺いします。 どのような点でそう思いますか。 (あてはまるものにいくつでも○をつけてください)	(n=196)
1	障害に関する正しい知識の普及啓発などが進んでいるから	35.2%
2	企業などで働く障害のある人が増えているから	46.4
3	学校での障害に関する教育が進んでいるから	18.9
4	地域で障害者との交流が進んでいるから	20.9
5	障害者作品展やイベントなどが開催されているから	26.0
6	公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから	60.7
7	公共の施設等のトイレなどが利用しやすくなっているから	59.7
8	放置自転車や路上等障害物の対策が進んでいるから	27.6
9	道路の段差などが解消されてきているから	26.0
	無回答	0.5

図1-2-2 障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ点



障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ点は、「公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから」(60.7%)が約6割で最も高く、次いで「公共の施設等のトイレなどが利用しやすくなっているから」(59.7%)が6割弱、「企業などで働く障害のある人が増えているから」(46.4%)が4割台半ばを超えと続いている。(図1-2-2)

II 調査の結果

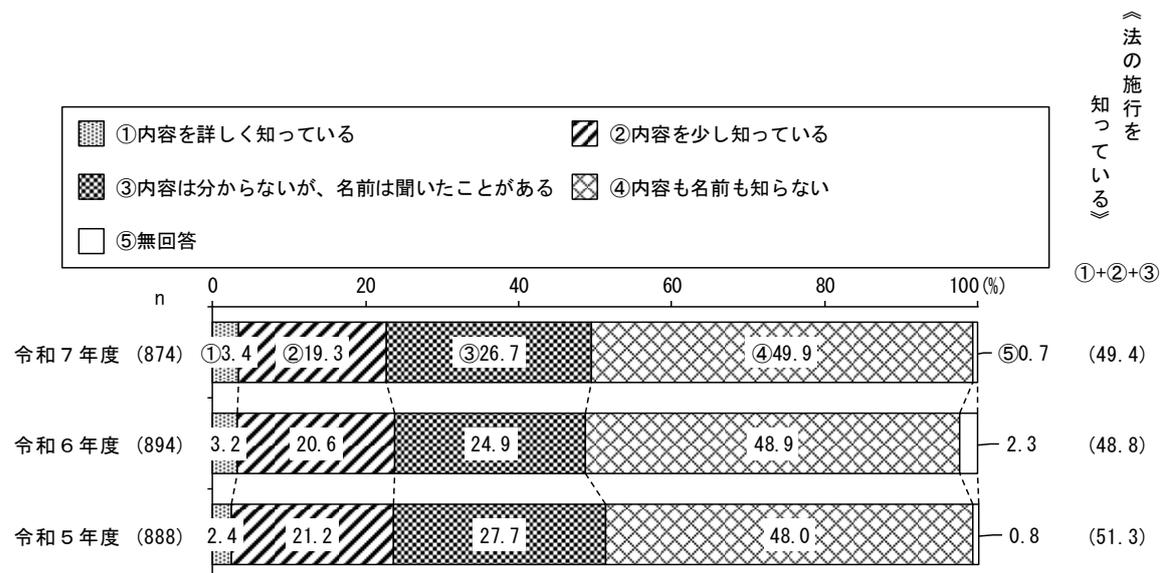
(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

(3) 「障害者差別解消法」の認知状況

◎ 「障害者差別解消法」の《法の施行を知っている》が5割弱

問3	平成28年4月に「障害者差別解消法」が施行され、行政機関や民間事業者に対して、障害を理由とした差別の禁止や障害特性に合わせた配慮（合理的配慮）の提供が求められることになりました。あなたは、この法律について知っていますか。（○は1つ）	(n=874)
1	内容を詳しく知っている	3.4%
2	内容を少し知っている	19.3
3	内容は分からないが、名前は聞いたことがある	26.7
4	内容も名前も知らない	49.9
	無回答	0.7

図1-2-3 「障害者差別解消法」の認知状況
(経年推移)



「障害者差別解消法」の認知状況は、「内容を詳しく知っている」(3.4%)と「内容を少し知っている」(19.3%)と「内容は分からないが、名前は聞いたことがある」(26.7%)を合わせた《法の施行を知っている》(49.4%)が5割弱となっている。

過去3年間の経年推移をみると《法の施行を知っている》では、令和5年度(51.3%)から令和6年度(48.8%)にかけて2.5ポイント低くなっているものの、令和6年度(48.8%)から令和7年度(49.4%)にかけて0.6ポイント高くなっている。(図1-2-3)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
障害者差別解消法認知度	障害者差別解消法の施行を知っている人の割合	障害者が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちの実現につながるため	44.7%	49.4%	増加

＜地域活動＞

（１）地域活動への参加

◎「町会や自治会の活動」が2割台半ば超え、「活動に参加したことはない」は5割近く

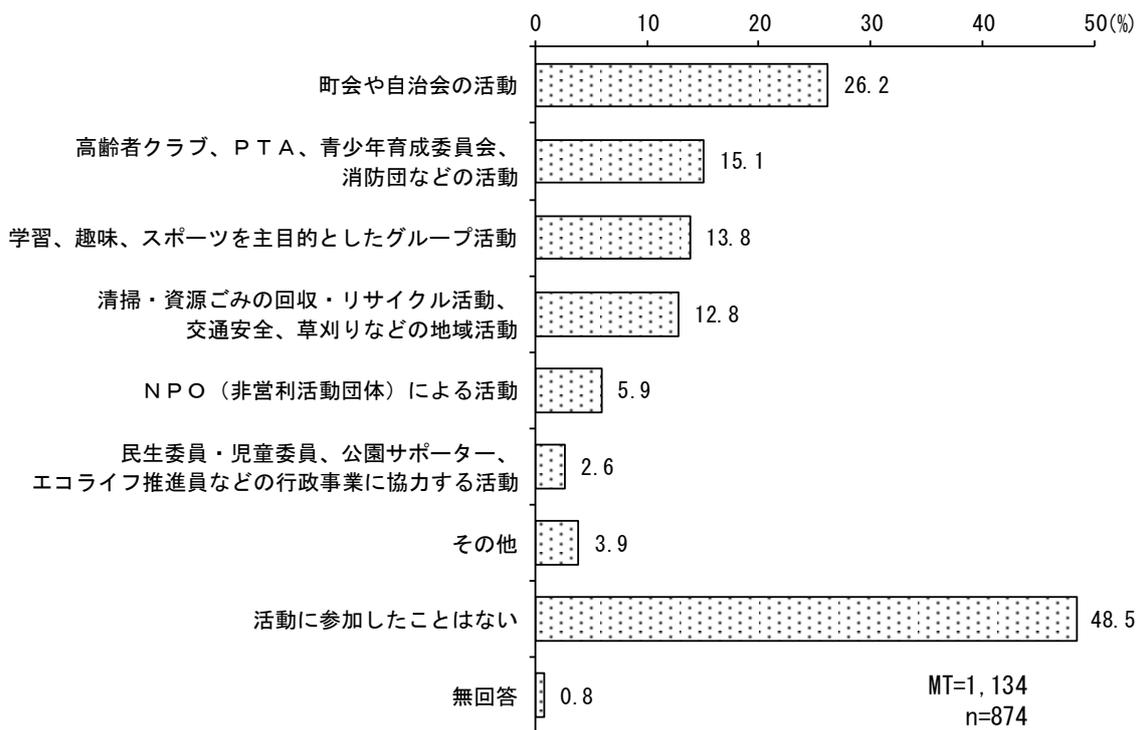
問4 次の地域活動・ボランティア活動のうち、参加している（したことがある）ものに○をつけてください。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		(n=874)
1	町会や自治会の活動（おまつりの手伝いや防災訓練、ゴミの分別回収や不用品のリサイクル活動、通学時などのパトロールなども含む）	26.2%
2	高齢者クラブ、PTA、青少年育成委員会、消防団などの活動	15.1
3	民生委員・児童委員、公園サポーター、エコライフ推進員などの行政事業に協力する活動	2.6
4	学習、趣味、スポーツを主目的としたグループ活動	13.8
5	清掃・資源ごみの回収・リサイクル活動、交通安全、草刈りなどの地域活動	12.8
6	NPO（非営利活動団体）による活動	5.9
7	その他	3.9
8	活動に参加したことはない	48.5
	無回答	0.8

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

図1-3-1-1 地域活動への参加



地域活動への参加は、「町会や自治会の活動（おまつりの手伝いや防災訓練、ゴミの分別回収や不用品のリサイクル活動、通学時などのパトロールなども含む）」（26.2%）が2割台半ばを超えて最も高く、次いで「高齢者クラブ、PTA、青少年育成委員会、消防団などの活動」（15.1%）が1割台半ば、「清掃・資源ごみの回収・リサイクル活動、交通安全、草刈りなどの地域活動」（12.8%）が1割強と続いている。

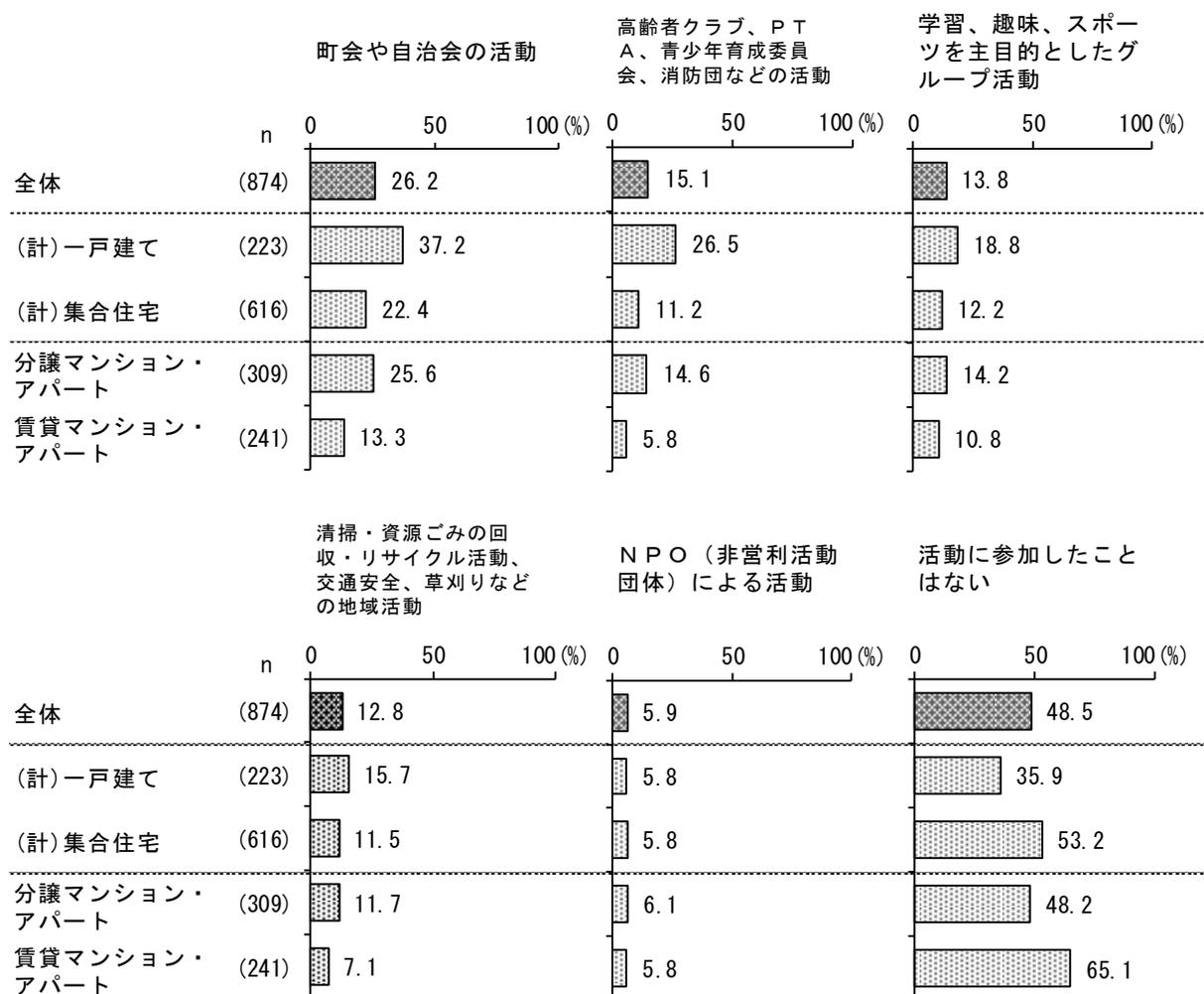
一方、「活動に参加したことはない」（48.5%）が5割近くとなっている。

「活動に参加したことはない」（48.5%）と「無回答」（0.8%）を除いた「地域コミュニティ活動への参加率」（50.7%）は約5割となっている。（図1-3-1-1）

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
地域コミュニティ活動への参加率	地域の中でコミュニティ活動を行っている人の割合	区民が自ら考え行動する、区民が主役の自治のまちの実現につながるため	50.0%	50.7%	60.0%

図1-3-1-2 地域活動への参加
(住居形態別) 上位5項目+「活動に参加したことはない」



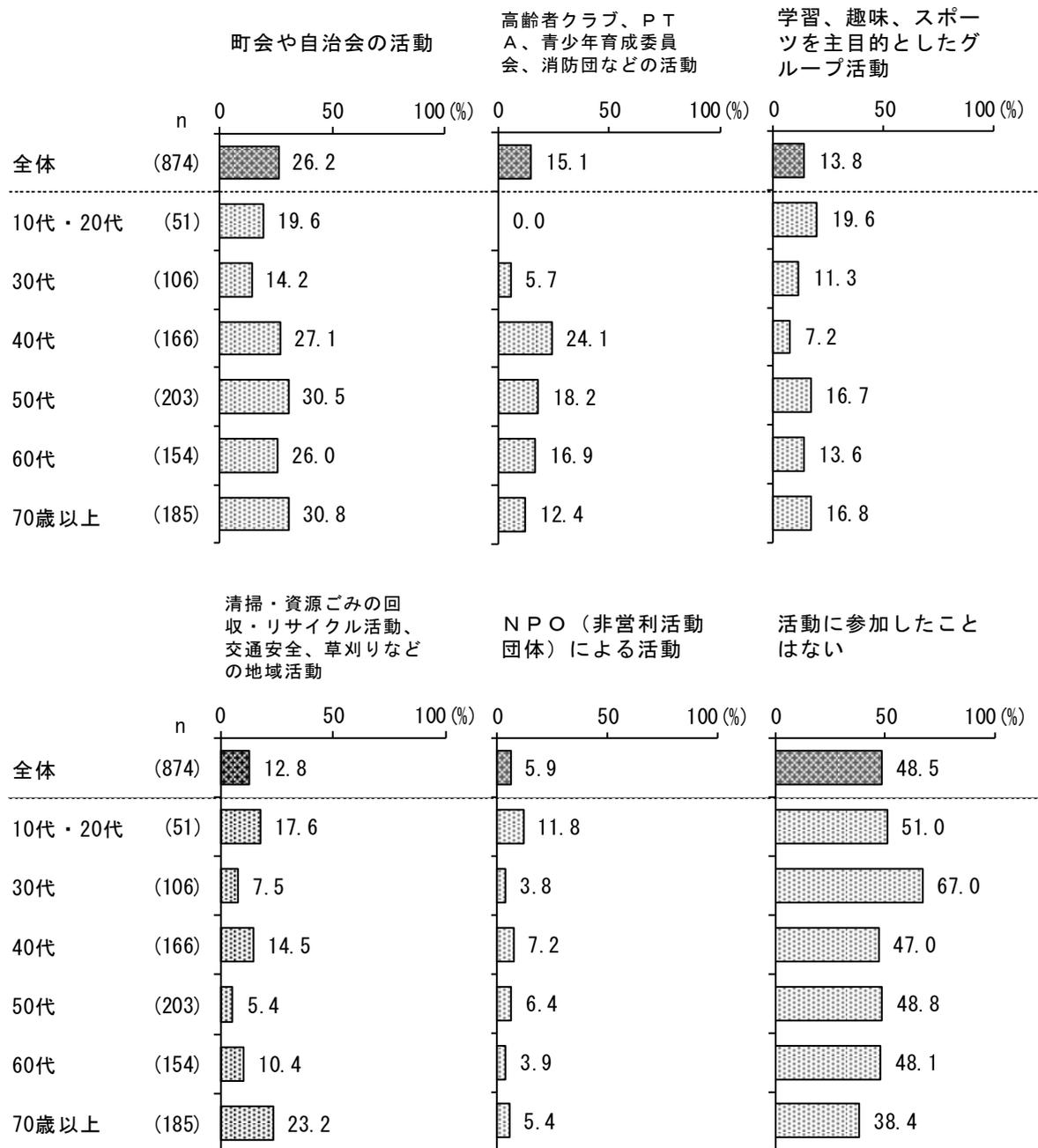
上位5項目と「活動に参加したことはない」について、住居形態別でみると、「高齢者クラブ、PTA、青少年育成委員会、消防団などの活動」では、(計)一戸建て(26.5%)が2割台半ばを超え、(計)集合住宅(11.2%)を15.3ポイント上回っている。

「活動に参加したことはない」では、賃貸マンション・アパート(65.1%)が6割台半ばと、全体(48.5%)を16.6ポイント上回っている。(図1-3-1-2)

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

図1-3-1-3 地域活動への参加
(年代別) 上位5項目+「活動に参加したことはない」



上位5項目と「活動に参加したことはない」について、年代別でみると、「高齢者クラブ、PTA、青少年育成委員会、消防団などの活動」では、10代・20代が0.0%となっている。

「活動に参加したことはない」では30代(67.0%)が6割台半ばを超え、全体(48.5%)を18.5ポイント上回っている。(図1-3-1-3)

基本政策Ⅱ 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

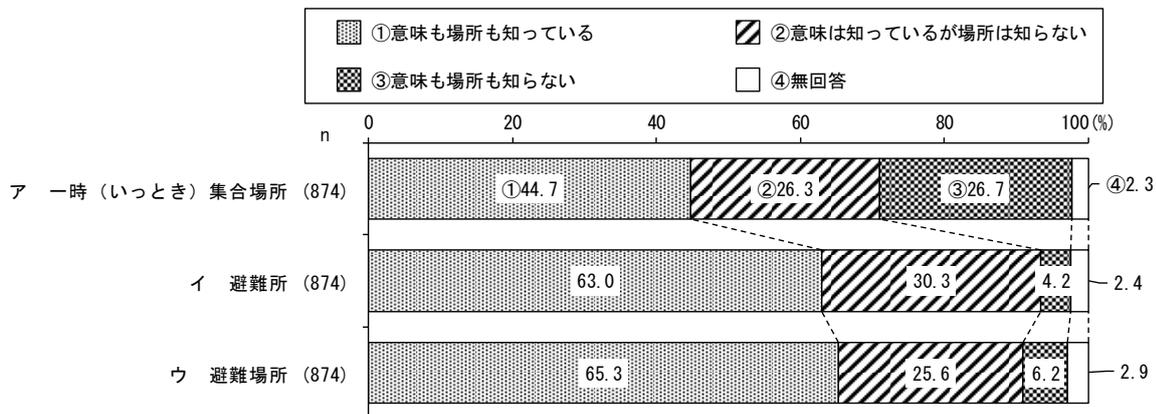
<防災対策>

(1) 避難場所・避難所の理解度

◎「意味も場所も知っている」は『避難場所』が6割台半ば

問5 あなたは、地震などの災害が発生した際、安全を確保するために避難する、以下のア～ウの場所について、その意味とどこにあるかをご存知ですか。 (ア～ウそれぞれで、あてはまるものに1つ○をつけてください)		(n=874)			
	意味も場所も知っている	意味は知っているが場所は知らない	意味も場所も知らない	無回答	
ア 一時(いっとき)集合場所	44.7%	26.3%	26.7%	2.3%	
イ 避難所	63.0	30.3	4.2	2.4	
ウ 避難場所	65.3	25.6	6.2	2.9	

図2-1-1-1 避難場所・避難所の理解度



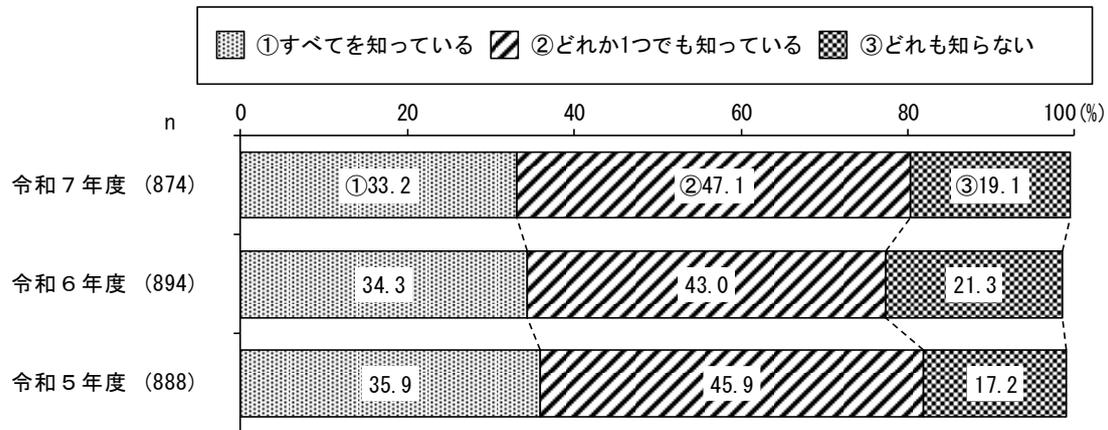
避難場所・避難所の理解度は、「意味も場所も知っている」は『避難場所』(65.3%)が6割台半ばで最も高く、次いで『避難所』(63.0%)が6割台半ば近くとなっている。

一方、「意味も場所も知らない」は『一時(いっとき)集合場所』(26.7%)が2割台半ばを超えている。(図2-1-1-1)

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

図 2-1-1-2 避難場所・避難所の理解度
3項目の場所の理解について再分類*
(経年推移)



※ 3項目とも無回答のものは除く

※ 避難場所・避難所の理解度 3項目の再分類

『一時集合場所』『避難所』『避難場所』の3項目について、「意味も場所も知っている」を《知っている》、「意味は知っているが場所は知らない」および「意味も場所も知らない」を《知らない》とし、「すべてを知っている」、「どれか1つでも知っている」、「どれも知らない」に再分類した。

3項目の避難場所・避難所の場所をいくつ知っているかについて、「すべてを知っている」(33.2%)が3割台半ば近く、「どれか1つでも知っている」(47.1%)が4割台半ば超え、「どれも知らない」(19.1%)が2割弱となっている。

過去3年間の経年推移をみると、「すべてを知っている」では、令和5年度(35.9%)から令和7年度(33.2%)にかけ2.7ポイント低くなっている。(図2-1-1-2)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

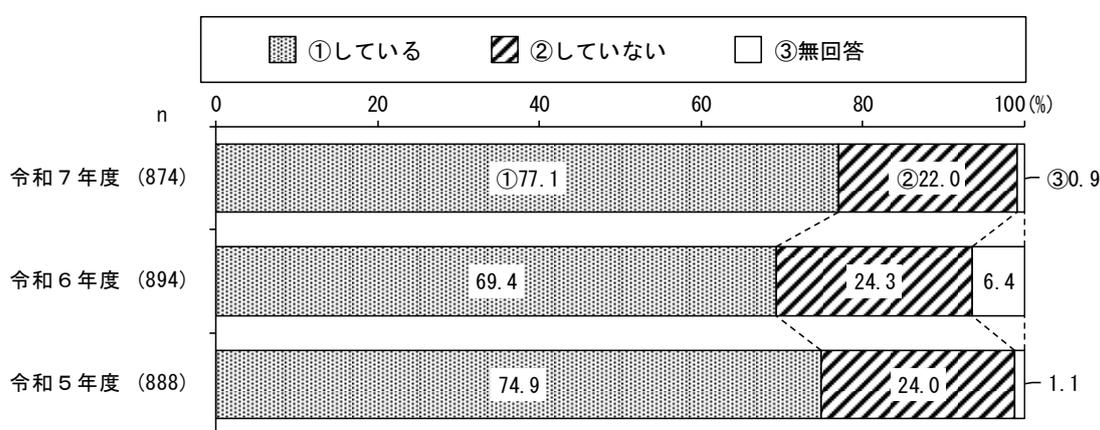
指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
避難場所・避難所の理解度	一時集合場所、一次避難所、避難場所を理解している区民の割合	区民への防災意識や知識の普及啓発の取組成果を表すため	49.1%	33.2%	80.0%

(2) 家庭内の防災対策

◎「している」が7割台半ば超え

問6 あなたのご家庭では、日ごろ防災対策をしていますか。(○は1つ)		(n=874)
1	している	77.1%
2	していない	22.0
	無回答	0.9

図2-1-2 家庭内の防災対策
(経年推移)



家庭内の防災対策は、「している」(77.1%)が7割台半ば超え、「していない」(22.0%)が2割強となっている。

過去3年間の経年推移をみると、「している」では、令和5年度(74.9%)から令和6年度(69.4%)にかけて5.5ポイント低くなっているものの、令和6年度(69.4%)から令和7年度(77.1%)にかけて7.7ポイント高くなっている。(図2-1-2)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
家庭内の防災対策の普及	家庭内の防災対策実施率	区民への防災意識の普及啓発や防災用品の支援などの取組成果を表すため	65.2%	77.1%	90.0%

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

(3) 防災対策の内容

◎「食料、飲料水の備蓄」が約9割

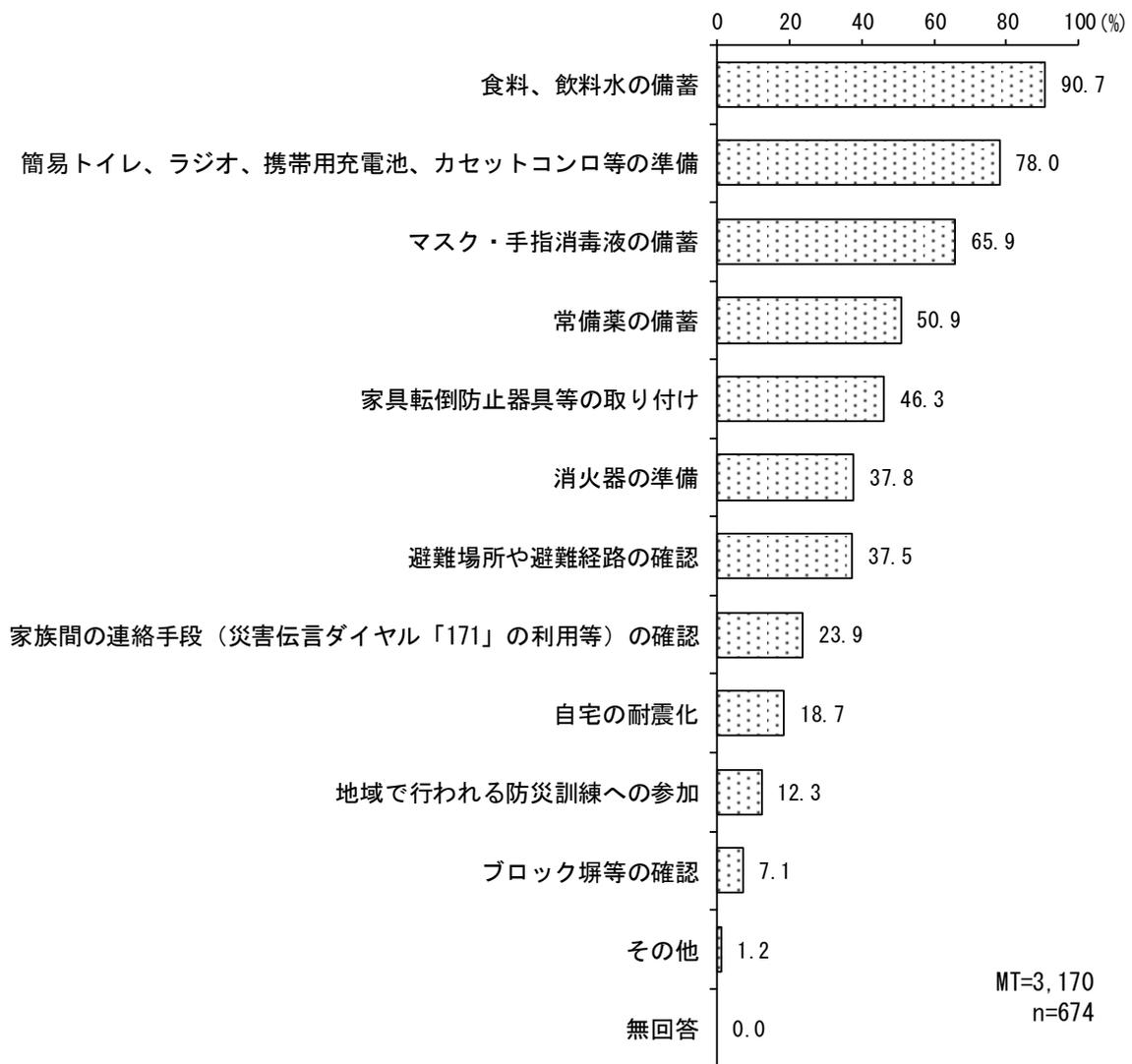
問6-1 問6で、「1」に○をした方にお伺いします。

どのような対策をしていますか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=674)
1 食料、飲料水の備蓄	90.7%
2 簡易トイレ、ラジオ、携帯用充電機、カセットコンロ等の準備	78.0
3 常備薬の備蓄	50.9
4 マスク・手指消毒液の備蓄	65.9
5 消火器の準備	37.8
6 家具転倒防止器具等の取り付け	46.3
7 避難場所や避難経路の確認	37.5
8 家族間の連絡手段(災害伝言ダイヤル「171」の利用等)の確認	23.9
9 自宅の耐震化	18.7
10 ブロック塀等の確認	7.1
11 地域で行われる防災訓練への参加	12.3
12 その他	1.2
無回答	0.0

図2-1-3 防災対策の内容



防災対策の内容は、「食料、飲料水の備蓄」（90.7%）が約9割と最も高く、次いで「簡易トイレ、ラジオ、携帯用充電機、カセットコンロ等の準備」（78.0%）が8割近く、「マスク・手指消毒液の備蓄」（65.9%）が6割台半ばと続いている。（図2-1-3）

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

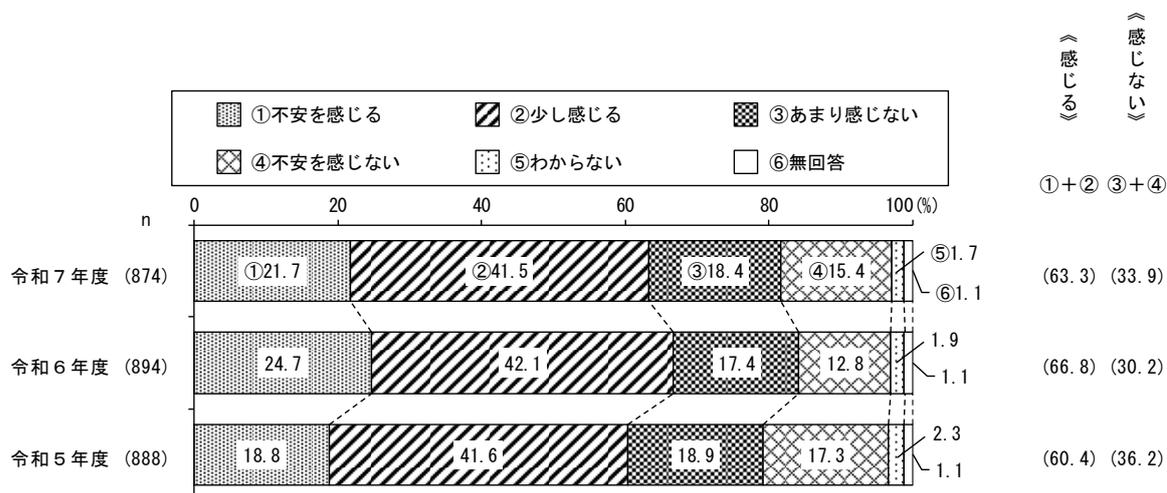
<安全・安心>

(1) 犯罪への不安

◎不安を《感じる》が3割台半ば近く

問7 あなたは、お住まいの地域で、犯罪への不安を感じることがありますか。(〇は1つ)		(n=874)
1	不安を感じる	21.7%
2	少し感じる	41.5
3	あまり感じない	18.4
4	不安を感じない	15.4
5	わからない	1.7
	無回答	1.1

図2-2-1 犯罪への不安
(経年推移)



犯罪への不安は、「不安を感じる」(21.7%)と「少し感じる」(41.5%)を合わせた《感じる》(63.3%)が6割台半ば近く、「あまり感じない」(18.4%)と「不安を感じない」(15.4%)を合わせた《感じる》(33.9%)が3割台半ば近くとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、《感じる》では、令和5年度(60.4%)から令和6年度(66.8%)にかけて6.4ポイント高くなっているものの、令和6年度(66.8%)から令和7年度(63.3%)にかけて3.5ポイント低くなっている。(図2-2-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
区民の日常生活における安心度	居住地域で犯罪への不安を感じない区民の割合	安全で安心な暮らしやすいまちの実現に向けたため	40.6%	33.9%	増加

(2) 不安を感じる理由

◎「事件に関する報道が多いから」が5割強

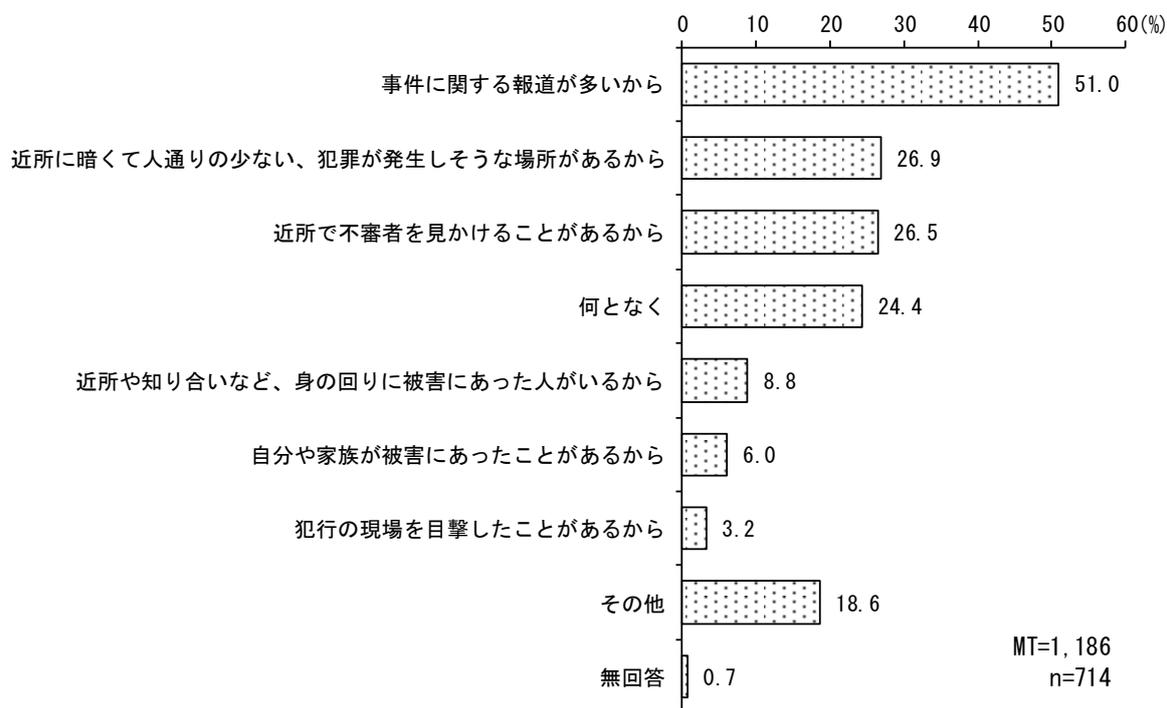
問7-1 問7で、「1」～「3」に○をした方にお伺いします。

不安を感じる理由は何ですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=714)
1 事件に関する報道が多いから	51.0%
2 近所に暗くて人通りの少ない、犯罪が発生しそうな場所があるから	26.9
3 近所や知り合いなど、身の回りに被害にあった人がいるから	8.8
4 近所で不審者を見かけることがあるから	26.5
5 自分や家族が被害にあったことがあるから	6.0
6 犯行の現場を目撃したことがあるから	3.2
7 何となく	24.4
8 その他	18.6
無回答	0.7

図2-2-2 不安を感じる理由



不安を感じる理由は、「事件に関する報道が多いから」(51.0%)が5割強と最も高く、次いで「近所に暗くて人通りの少ない、犯罪が発生しそうな場所があるから」(26.9%)が2割台半ば超え、「近所で不審者を見かけることがあるから」(26.5%)が2割台半ば超え、「何となく」(24.4%)が2割台半ば近くと続いている。(図2-2-2)

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

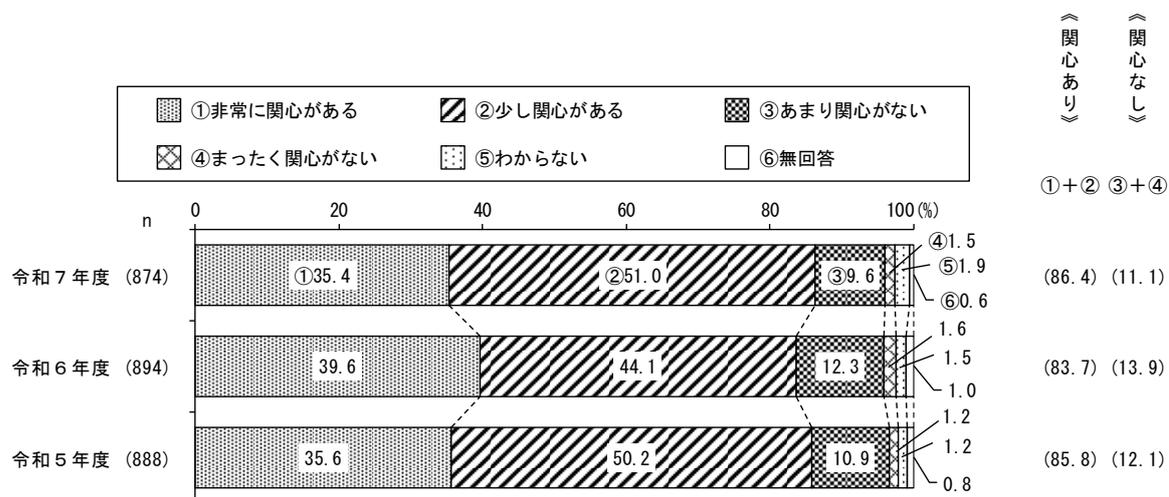
<安全な消費生活>

(1) 消費者問題への関心度

◎ 《関心あり》が8割台半ば超え

問8 あなたは、悪質商法の被害防止や消費生活上のトラブル解決に対して関心がありますか。 (○は1つ)		(n=874)
1	非常に関心がある	35.4%
2	少し関心がある	51.0
3	あまり関心がない	9.6
4	まったく関心がない	1.5
5	わからない	1.9
	無回答	0.6

図2-3-1 消費者問題への関心度
(経年推移)



消費者問題への関心度は、「非常に関心がある」(35.4%)と「少し関心がある」(51.0%)を合わせた《関心あり》(86.4%)が8割台半ば超えとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、《関心あり》では、令和5年度(85.8%)から令和6年度(83.7%)にかけて2.1ポイント低くなっているものの、令和6年度(83.7%)から令和7年度(86.4%)にかけて2.7ポイント高くなっている。(図2-3-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

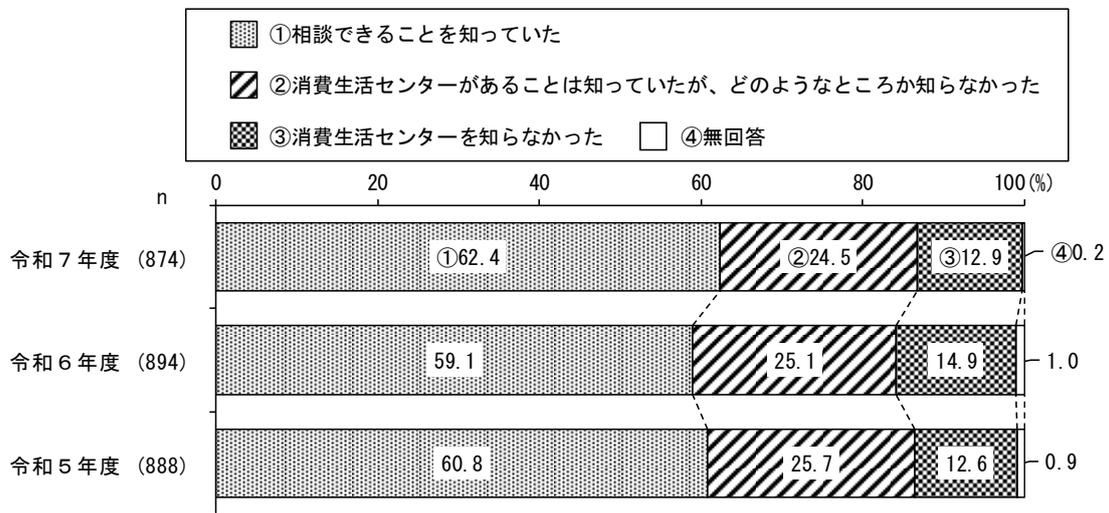
指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
消費者問題に対する関心度	悪質商法や消費者問題に対して関心がある区民の割合	情報提供や普及啓発の取組の成果を表すため	78.3%	86.4%	85.0%

(2) 区の消費生活センターへの相談

◎「相談できることを知っていた」が6割強

問9	あなたは、契約のトラブルなどで困ったときに新宿区の消費生活センターに相談できることを知っていましたか。(〇は1つ)	(n=874)
1	相談できることを知っていた	62.4%
2	消費生活センターがあることは知っていたが、どのようなところか知らなかった	24.5
3	消費生活センターを知らなかった	12.9
	無回答	0.2

図2-3-2 区の消費生活センターへの相談
(経年推移)



区の消費生活センターへの相談は、「相談できることを知っていた」(62.4%)が6割強、「消費生活センターがあることは知っていたが、どのようなところか知らなかった」(24.5%)が2割台半ば近くとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、「相談できることを知っていた」では、令和6年度(59.1%)から令和7年度(62.4%)にかけて3.3ポイント高くなっている。(図2-3-2)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
消費生活センターの認知度	契約のトラブルなどで困った時に消費生活センターに相談できることを知っている区民の割合	契約のトラブルなどで困った時に消費生活センターに相談できることを知っていることが、消費者被害の未然防止及び被害者救済につながるため	60.9%	62.4%	70.0%

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

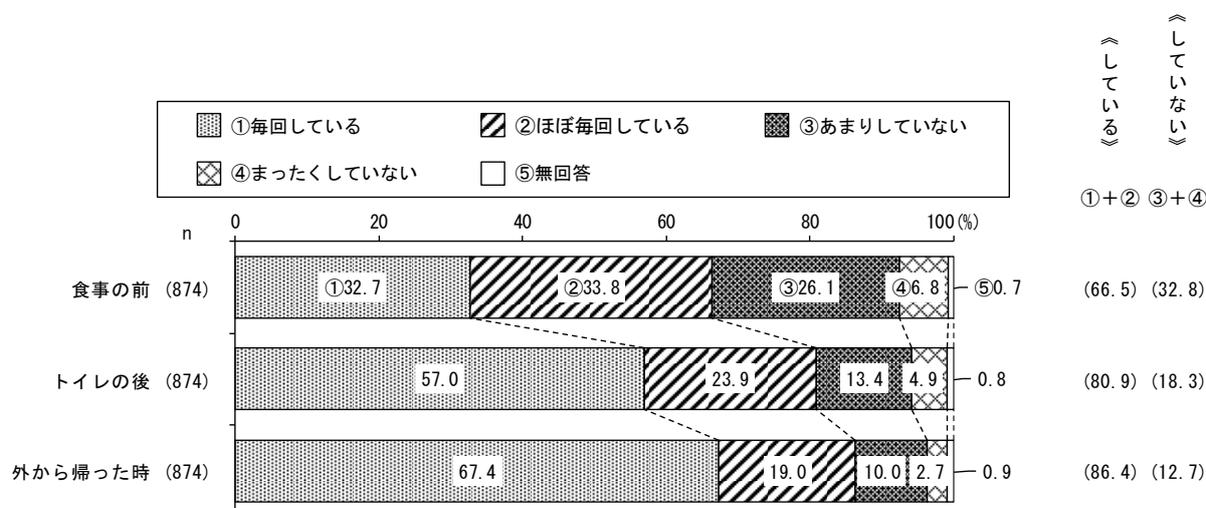
<感染症予防>

(1) 手洗い習慣

◎「毎回している」は『外から帰った時』が6割台半ば超え、『トイレの後』が5割台半ば超え

問10 インフルエンザ等の感染症や食中毒を予防するための習慣として、次のようなときに石けんを使用し30秒程度流水で手洗いをしていますか。 (ア～ウそれぞれで、あてはまるものに1つ○をつけてください)					
(n=874)					
	毎回している	ほぼ毎回している	あまりしていない	まったくしていない	無回答
ア 食事の前	32.7%	33.8%	26.1%	6.8%	0.7%
イ トイレの後	57.0	23.9	13.4	4.9	0.8
ウ 外から帰った時	67.4	19.0	10.0	2.7	0.9

図2-4-1-1 手洗い習慣



手洗い習慣は、「毎回している」は『外から帰った時』(67.4%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで『トイレの後』(57.0%)が5割台半ば超え、『食事の前』(32.7%)が3割強となっている。

「毎回している」と「ほぼ毎回している」を合わせた《している》は、『外から帰った時』(86.4%)が8割台半ばを超え最も高く、次いで『トイレの後』(80.9%)が約8割となっている。

一方、「あまりしていない」と「まったくしていない」を合わせた《していない》は、『食事の前』(32.8%)が3割強となっている。

《している》の『食事の前』(66.5%)、『トイレの後』(80.9%)及び『外から帰った時』(86.4%)の割合を平均した「手洗い実施率」(77.9%)は7割台半ば超えとなっている。

(図2-4-1-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
感染の予防行動 1) 手洗い実施率	感染の予防行動をとっている区民の割合	感染症対策に関する情報提供や普及啓発の成果を表すため	84.2%	77.9%	90.0%

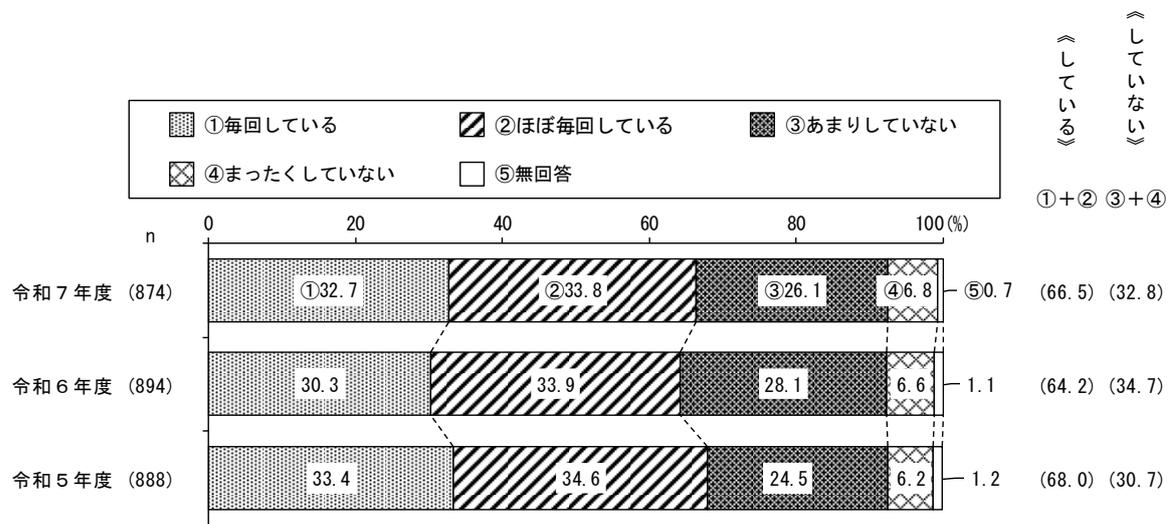
Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

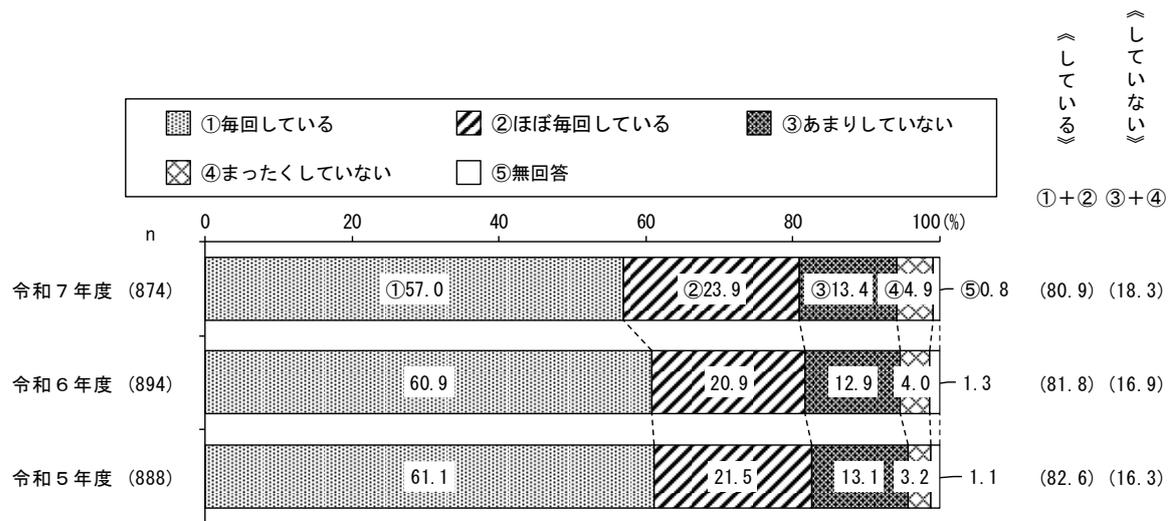
図2-4-1-2 手洗い習慣

(経年推移)

『ア 食事の前』



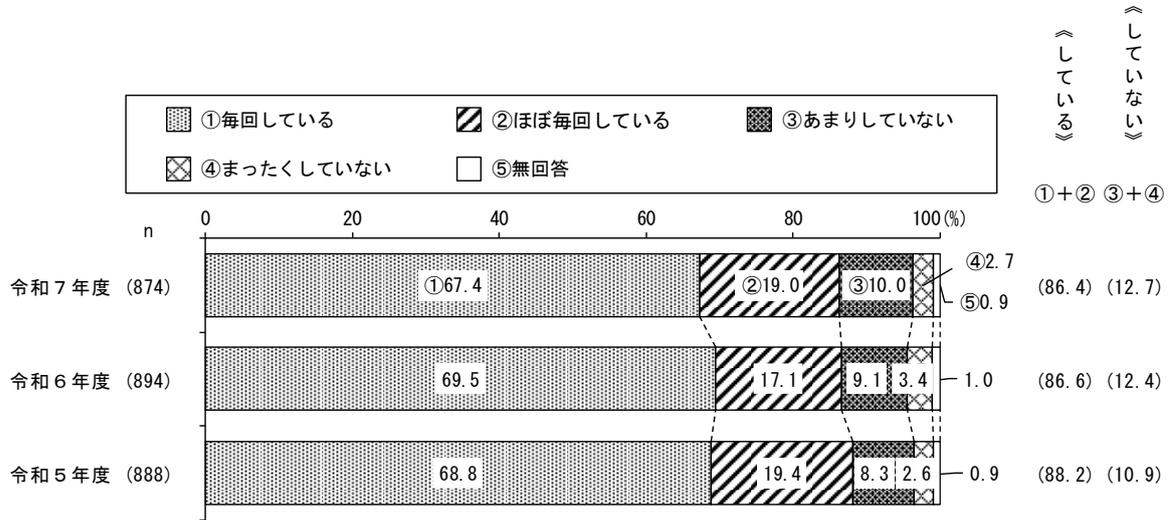
『イ トイレの後』



それぞれの項目ごとに経年推移をみると、『食事の前』において、《している》は、令和5年度(68.0%)から令和6年度(64.2%)にかけて3.8ポイント低くなっているものの、令和6年度(64.2%)から令和7年度(66.5%)にかけて2.3ポイント高くなっている。

『トイレの後』において、《している》では、令和5年度(82.6%)から令和7年度(80.9%)にかけて1.7ポイント低くなっている。(図2-4-1-2)

図2-4-1-3 手洗い習慣
(経年推移)
『ウ 外から帰った時』



『外から帰った時』において、《している》では、令和5年度(88.2%)から令和7年度(86.4%)にかけて1.8ポイント低くなっている。(図2-4-1-3)

II 調査の結果

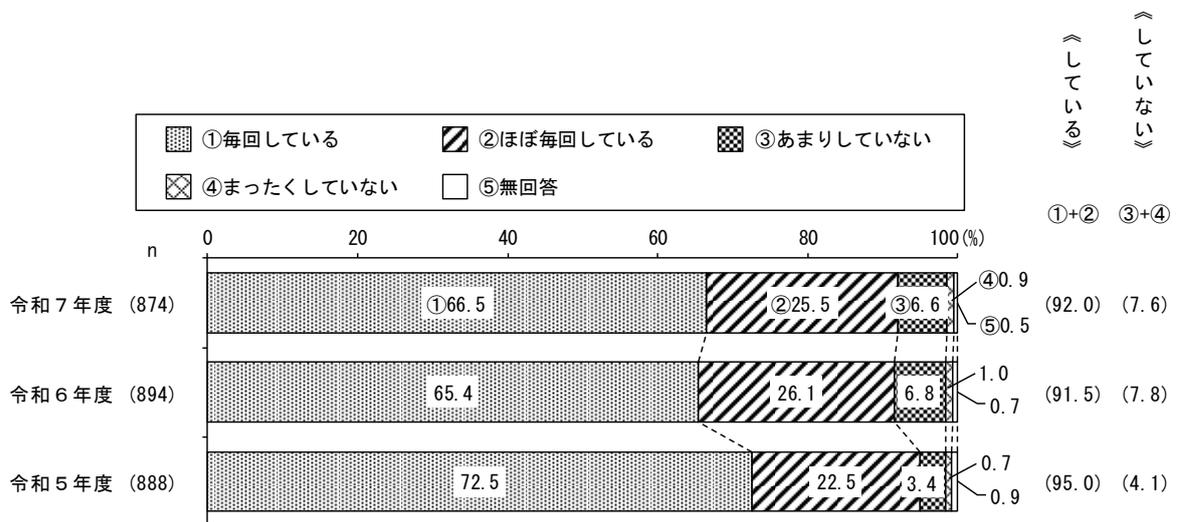
(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

(2) 「咳エチケット」の実施

◎ 《している》が9割強

問11 咳・くしゃみの症状がある時、マスク等で鼻や口を覆う「咳エチケット」をしていますか。(〇は1つ)		(n=874)
1	毎回している	66.5%
2	ほぼ毎回している	25.5
3	あまりしていない	6.6
4	まったくしていない	0.9
	無回答	0.5

図2-4-2 「咳エチケット」の実施
(経年推移)



「咳エチケット」の実施は、「毎回している」(66.5%)と「ほぼ毎回している」(25.5%)を合わせた《している》(92.0%)が9割強となっている。

過去3年間の経年推移をみると《している》では、令和5年度(95.0%)から令和6年度(91.5%)にかけて3.5ポイント低くなっているものの、令和6年度(91.5%)から令和7年度(92.0%)にかけて0.5ポイント高くなっている。(図2-4-2)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

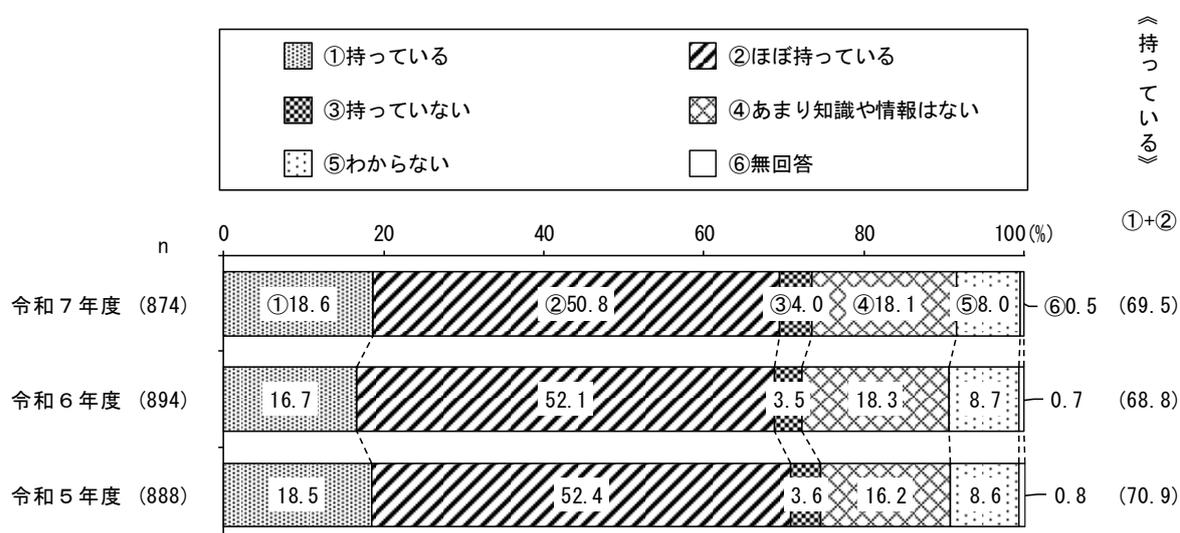
指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
感染の予防行動 2) 咳エチケット 実施率	感染の予防行動をとっている区民の割合	感染症対策に関する情報提供や普及啓発の成果を表すため	77.7%	92.0%	85.0%

(3) 食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況

◎ 《持っている》が7割弱

問12 あなたは、食の安全に関する正しい知識や情報を持っていますか。(〇は1つ)		(n=874)
1	持っている	18.6%
2	ほぼ持っている	50.8
3	持っていない	4.0
4	あまり知識や情報はない	18.1
5	わからない	8.0
	無回答	0.5

図2-4-3 食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況
(経年推移)



食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況は、「ほぼ持っている」(50.8%)が約5割、「持っている」(18.6%)が2割近く、「あまり知識や情報はない」(18.1%)が2割近くとなっている。

「持っている」(18.6%)と「ほぼ持っている」(50.8%)を合わせた《持っている》(69.5%)が7割弱となっている。

過去3年間の経年推移をみると《持っている》では、令和5年度(70.9%)から令和6年度(68.8%)にかけて2.1ポイント低くなっているものの、令和6年度(68.8%)から令和7年度(69.5%)にかけて0.7ポイント高くなっている。(図2-4-3)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
食の安全に関する 関心度	食中毒の予防や食品の安全に対して 正しい知識を持つ区民の割合	食品の安全に関する情報提供や 普及啓発の成果を表すため	65.8%	69.5%	80.0%

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

基本政策Ⅲ 賑わい都市・新宿の創造

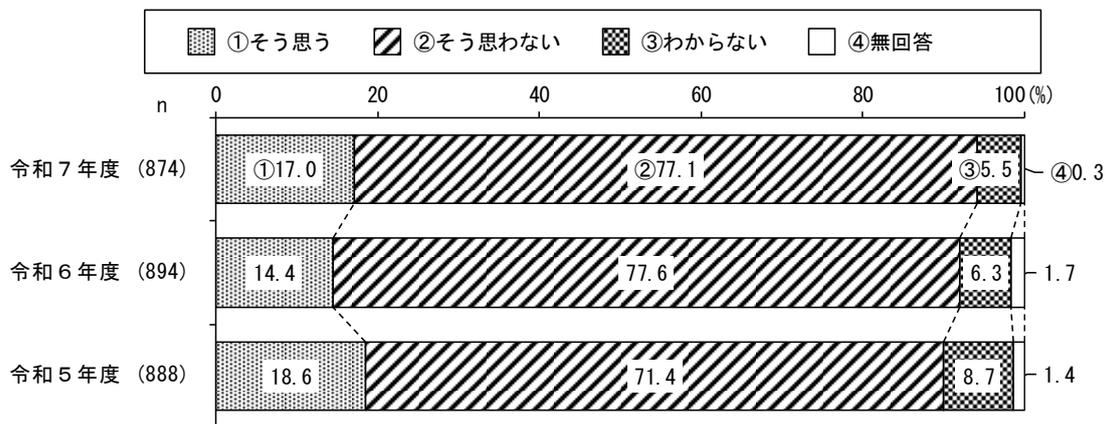
<新宿駅周辺の回遊性>

(1) 新宿駅周辺の歩きやすさ

◎「そう思わない」が7割台半ば超え

問13 新宿駅周辺は、歩きやすいまちと感じますか。(○は1つ)		(n=874)
1	そう思う	17.0%
2	そう思わない	77.1
3	わからない	5.5
	無回答	0.3

図3-1-1 新宿駅周辺の歩きやすさ
(経年推移)



新宿駅周辺の歩きやすさは、「そう思わない」(77.1%)が7割台半ば超え、「そう思う」(17.0%)が1割台半ば超えとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、「そう思う」では、令和5年度(18.6%)から令和6年度(14.4%)にかけて4.2ポイント低くなっているものの、令和6年度(14.4%)から令和7年度(17.0%)にかけて2.6ポイント高くなっている。(図3-1-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

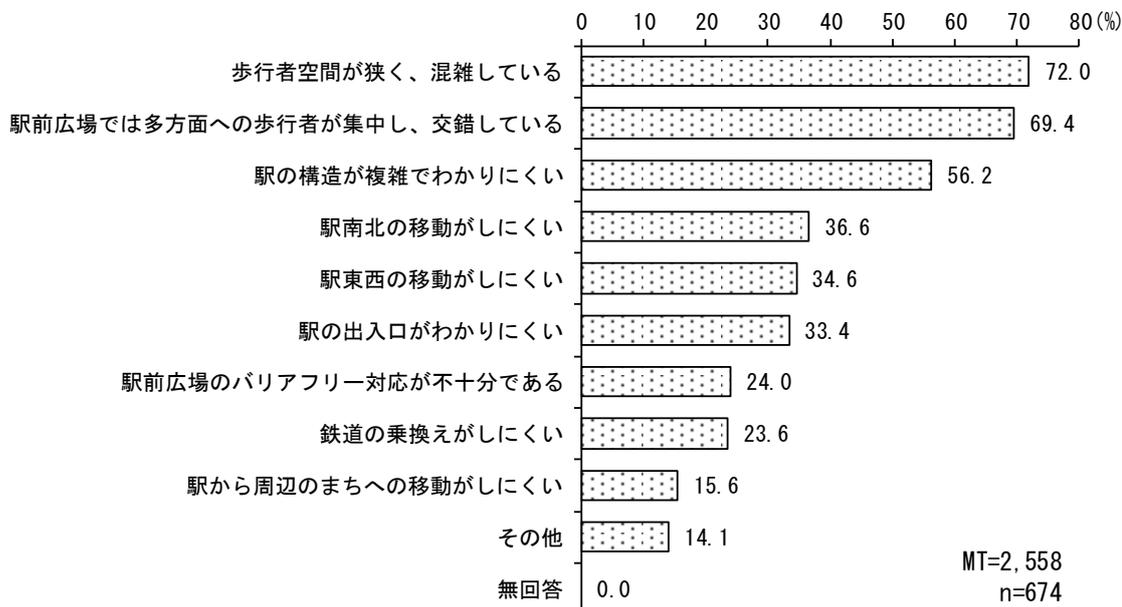
指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
新宿駅周辺の回遊のしやすさに対する満足度	新宿駅周辺(東口・西口・南口など)が、訪れる人にとって、それぞれアクセスしやすいと思う区民の割合	新宿駅周辺の回遊のしやすさが利便性の向上を表すとともに、魅力的で歩いて楽しいまちの実現につながるため	18.4%	17.0%	30.0%

(2) 新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由

◎「歩行者空間が狭く、混雑している」が7割強

問13-1 問13で、「2」に○をした方にお伺いします。 そう思わない理由は何ですか。 (あてはまるものにいくつでも○をつけてください)		(n=674)
1	歩行者空間が狭く、混雑している	72.0%
2	駅前広場では多方面への歩行者が集中し、交錯している	69.4
3	駅前広場のバリアフリー対応が不十分である	24.0
4	駅東西の移動がしにくい	34.6
5	駅南北の移動がしにくい	36.6
6	駅から周辺のまちへの移動がしにくい	15.6
7	鉄道の乗換えがしにくい	23.6
8	駅の構造が複雑でわかりにくい	56.2
9	駅の出入口がわかりにくい	33.4
10	その他	14.1
	無回答	0.0

図3-1-2 新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由



新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由は、「歩行者空間が狭く、混雑している」(72.0%)が7割強で最も高く、次いで「駅前広場では多方面への歩行者が集中し、交錯している」(69.4%)が7割弱、「駅の構造が複雑でわかりにくい」(56.2%)が5割台半ば超え、「駅南北の移動がしにくい」(36.6%)が3割台半ば超え、「駅東西の移動がしにくい」(34.6%)が3割台半ば近くと続いている。(図3-1-2)

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

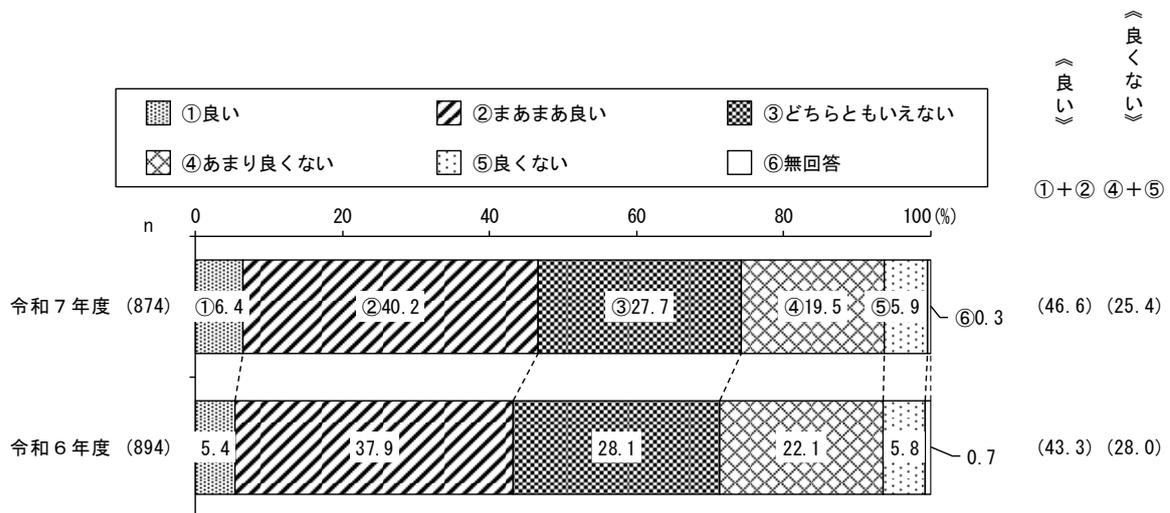
<美しいまちづくり>

(1) 新宿区全体の景観に対する区民意識

◎ 《良い》が4割台半ば超え

問14 あなたは、新宿区全体のまちなみや景観は良いと思いますか。(〇は1つ)		(n=874)
1	良い	6.4%
2	まあまあ良い	40.2
3	どちらともいえない	27.7
4	あまり良くない	19.5
5	良くない	5.9
	無回答	0.3

図3-2-1 新宿区全体の景観に対する区民意識
(経年推移)



新宿区全体の景観に対する区民意識は、「良い」(6.4%)と「まあまあ良い」(40.2%)を合わせた《良い》(46.6%)が4割台半ば超え、「あまり良くない」(19.5%)と「良くない」(5.9%)を合わせた《良くない》(25.4%)が2割台半ばとなっている。

過去2年間の経年推移をみると、《良い》では、令和6年度(43.3%)から令和7年度(46.6%)にかけて3.3ポイント高くなっている。(図3-2-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
景観に対する区民意識	まちなみや景観が「良い」、または「まあまあ良い」と感じる区民の割合	美しい景観に配慮したまちの実現の度合いを表すため	42.8%	46.6%	60.0%

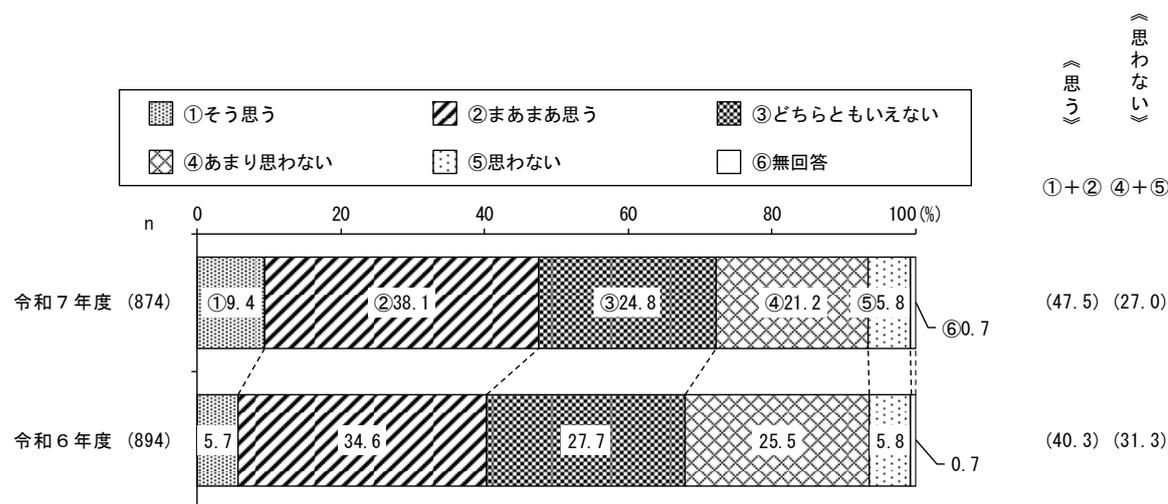
＜地域特性をふまえたまちづくり＞

(1) 地域の特性をふまえたまちづくりへの意識

◎ 《思う》が4割台半ば超え

問15	あなたは、新宿区では、地域の特性を活かして、住宅地における良好な居住環境の保全や商業地における賑わいの創出などを目指していくまちづくりが行われていると思いますか。(〇は1つ)	(n=874)
1	そう思う	9.4%
2	まあまあ思う	38.1
3	どちらともいえない	24.8
4	あまり思わない	21.2
5	思わない	5.8
	無回答	0.7

図3-3-1 地域の特性をふまえたまちづくりへの意識 (経年推移)



地域の特性をふまえたまちづくりへの意識は、「そう思う」(9.4%)と「まあまあ思う」(38.1%)を合わせた《思う》(47.5%)が4割台半ば超え、「あまり思わない」(21.2%)と「思わない」(5.8%)を合わせた《思わない》(27.0%)が2割台半ば超えとなっている。

過去2年間の経年推移をみると、《思う》では、令和6年度(40.3%)から令和7年度(47.5%)にかけて7.2ポイント高くなっている。(図3-3-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
地域特性を踏まえたまちづくりに対する区民意識	地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりが行われていると感じる区民の割合	地域特性を踏まえたまちづくりの実現の度合いを表すため	39.8%	47.5%	60.0%

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

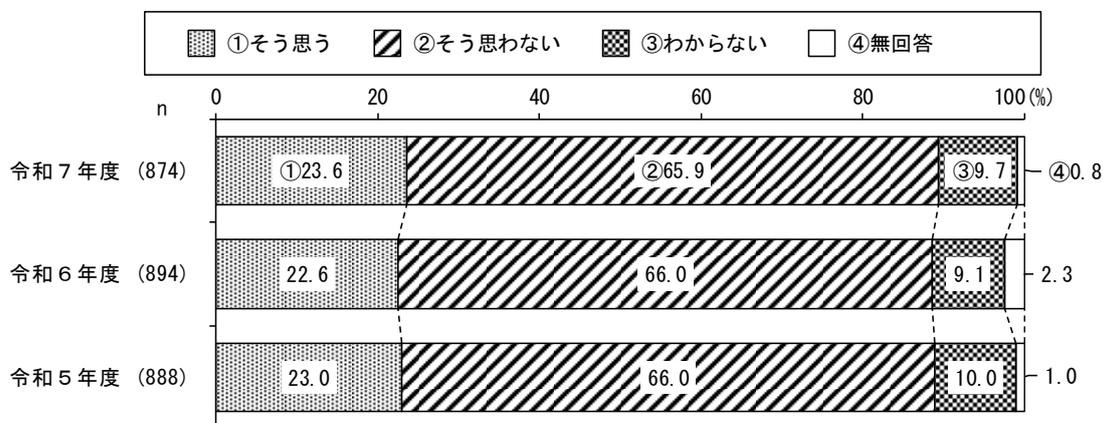
<安全で快適な道路>

(1) 道路の歩きやすさの満足度

◎「そう思う」が2割台半ば近く

問16 新宿区内の道路は、安全で快適な歩きやすい道路だと思いますか。(○は1つ)		(n=874)
1	そう思う	23.6%
2	そう思わない	65.9
3	わからない	9.7
	無回答	0.8

図3-4-1 道路の歩きやすさの満足度
(経年推移)



道路の歩きやすさの満足度は、「そう思う」(23.6%)が2割台半ば近く、「そう思わない」(65.9%)が6割台半ばとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、「そう思う」では、令和5年度(23.0%)から令和6年度(22.6%)にかけて0.4ポイント低くなっているものの、令和6年度(22.6%)から令和7年度(23.6%)にかけて1.0ポイント高くなっている。(図3-4-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
道路の歩きやすさ満足度	安全で快適な歩きやすい道路だと感じる人の割合	放置自転車対策や道路整備の進捗度を表すため	24.0%	23.6%	増加

(2) 安全で快適な道路だと思わない理由

◎「道路、歩道の幅員が狭い」が7割近く

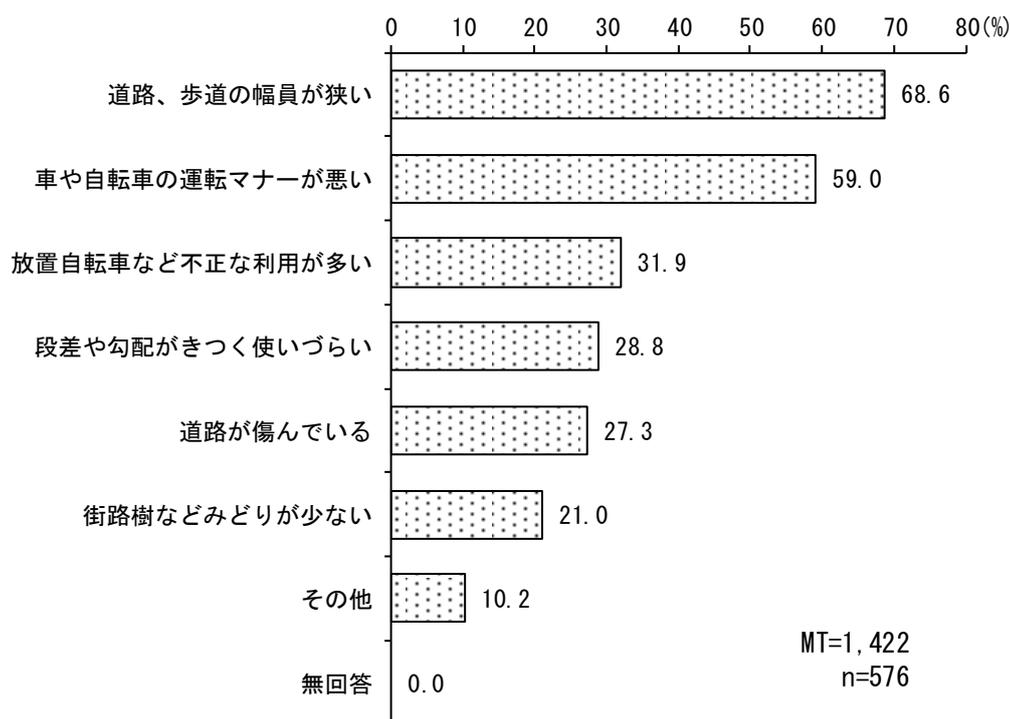
問16-1 問16で、「2」に○をした方にお伺いします。

そう思わない理由は何ですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=576)
1 道路が傷んでいる	27.3%
2 段差や勾配がきつく使いづらい	28.8
3 道路、歩道の幅員が狭い	68.6
4 街路樹などみどりが少ない	21.0
5 放置自転車など不正な利用が多い	31.9
6 車や自転車の運転マナーが悪い	59.0
7 その他	10.2
無回答	0.0

図3-4-2 安全で快適な道路だと思わない理由



安全で快適な道路だと思わない理由は、「道路、歩道の幅員が狭い」(68.6%)が7割近くで最も高く、次いで「車や自転車の運転マナーが悪い」(59.0%)が6割弱、「放置自転車など不正な利用が多い」(31.9%)が3割強と続いている。(図3-4-2)

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

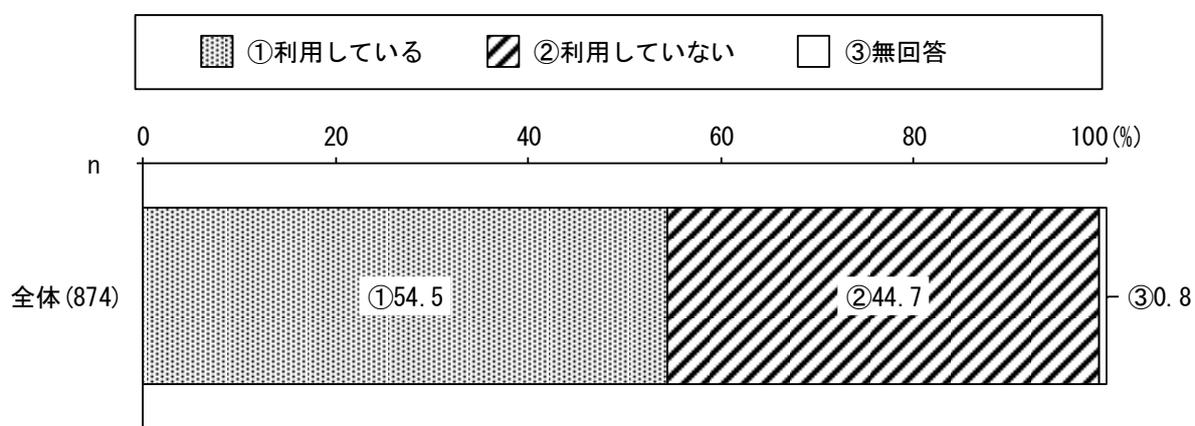
<公園整備>

(1) 公園の利用状況

◎「利用している」が5割台半ば近く

問17 あなたは、新宿区内の公園を利用していますか。(〇は1つ)		(n=874)
1	利用している	54.5%
2	利用していない	44.7
	無回答	0.8

図3-5-1 公園の利用状況



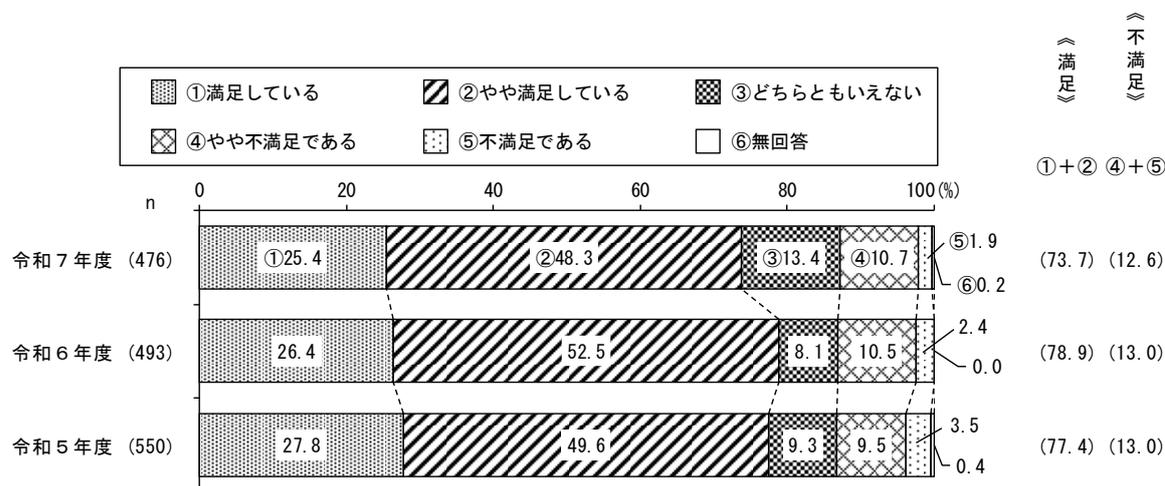
公園の利用状況は、「利用している」(54.5%)が5割台半ば近く、「利用していない」(44.7%)が4割台半ば近くとなっている。(図3-5-1)

(2) 公園の満足度

◎ 《満足》が7割台半ば近く

問17-1 問17で、「1」に○をした方にお伺いします。新宿区内の公園に満足していますか。(○は1つ)		(n=476)
1	満足している	25.4%
2	やや満足している	48.3
3	どちらともいえない	13.4
4	やや不満足である	10.7
5	不満足である	1.9
	無回答	0.2

図3-5-2 公園の満足度
(経年推移)



公園の満足度は、「満足している」(25.4%)と「やや満足している」(48.3%)を合わせた《満足》(73.7%)が7割台半ば近くとなっている。一方、「やや不満足である」(10.7%)と「不満足である」(1.9%)を合わせた《不満足》(12.6%)が1割強となっている。

過去3年間の経年推移をみると、《満足》では、令和5年度(77.4%)から令和6年度(78.9%)にかけて1.5ポイント高くなっているものの、令和6年度(78.9%)から令和7年度(73.7%)にかけて5.2ポイント低くなっている。(図3-5-2)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
公園利用者満足度	公園の利用に関して満足している区民の割合	魅力ある公園の整備・充実に向けた取組の成果を表すため	68.9%	73.7%	75.0%

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

(3) 公園を利用しない理由

◎「利用する時間がない」が5割強

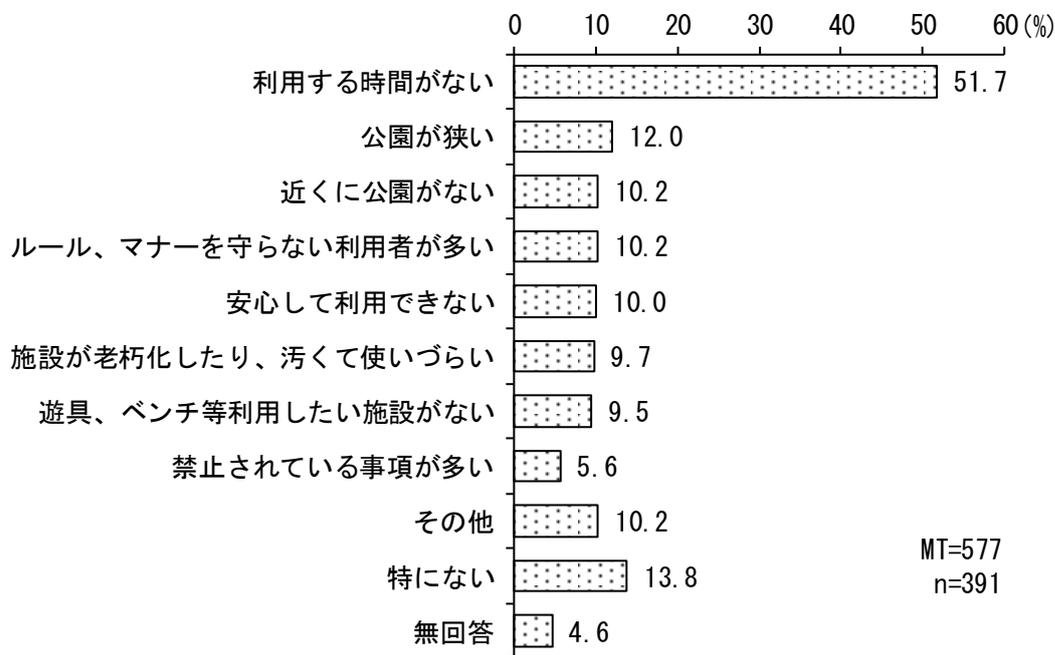
問17-2 問17で、「2」に○をした方にお伺いします。

あなたが公園を利用しない理由は何ですか。

(あてはまるものに3つまで○をつけてください)

	(n=391)
1 利用する時間がない	51.7%
2 近くに公園がない	10.2
3 公園が狭い	12.0
4 遊具、ベンチ等利用したい施設がない	9.5
5 安心して利用できない	10.0
6 施設が老朽化したり、汚くて使いづらい	9.7
7 禁止されている事項が多い	5.6
8 ルール、マナーを守らない利用者が多い	10.2
9 その他	10.2
10 特にない	13.8
無回答	4.6

図3-5-3 公園を利用しない理由



公園を利用しない理由は、「利用する時間がない」(51.7%)が5割強と最も高く、次いで「公園が狭い」(12.0%)が1割強、「近くに公園がない」(10.2%)と「ルール、マナーを守らない利用者が多い」(10.2%)が約1割と続いている。一方、「特にない」(13.8%)が1割台半ば近くとなっている。(図3-5-3)

＜環境＞

（１）環境配慮のために実施していること

◎「ごみの適正な分別の徹底によるリサイクルの推進」が7割台半ば超え

問18 環境に配慮するために、あなたが実施していることはありますか。

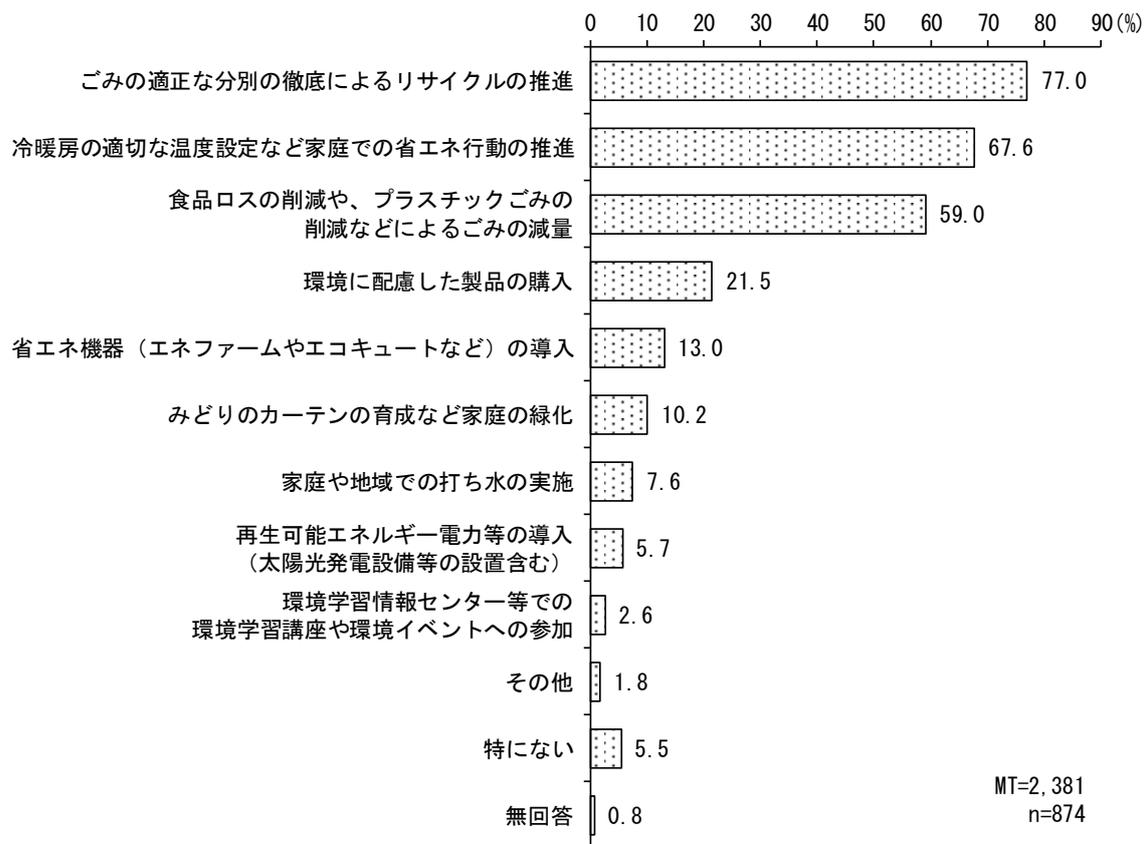
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	(n=874)
1 再生可能エネルギー電力等の導入(太陽光発電設備等の設置含む)	5.7%
2 冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進	67.6
3 省エネ機器（エネファームやエコキュートなど）の導入	13.0
4 みどりのカーテンの育成など家庭の緑化	10.2
5 家庭や地域での打ち水の実施	7.6
6 ごみの適正な分別の徹底によるリサイクルの推進	77.0
7 食品ロスの削減や、プラスチックごみの削減などによるごみの減量	59.0
8 環境学習情報センター等での環境学習講座や環境イベントへの参加	2.6
9 環境に配慮した製品の購入	21.5
10 その他	1.8
11 特にない	5.5
無回答	0.8

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

図3-6-1 環境配慮のために実施していること



環境配慮のために実施していることは、「ごみの適正な分別の徹底によるリサイクルの推進」(77.0%)が7割台半ばを超えて最も高く、次いで「冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進」(67.6%)が6割台半ば超え、「食品ロスの削減や、プラスチックごみの削減などによるごみの減量」(59.0%)が6割弱と続いている。

「特になし」(5.5%)と無回答(0.8%)を除いた「環境に配慮した取組を行っている区民の割合」(93.7%)は9割台半ば近くとなっている。(図3-6-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
環境に配慮した取組を行っている区民の割合	環境に配慮した取組を例示した上で、それらのいずれかを実施している区民の割合	環境学習・環境教育の推進など、区民等に対する周知啓発の取組の成果を表すため	93.9%	93.7%	取組率向上

(2) 再生可能エネルギー電力等を導入していない理由

◎「マンション等で一括受電（契約）しており変更できないから」が約3割

問18-1 問18で、「1」に○をしなかった方にお伺いします。

あなたが再生可能エネルギー電力等を導入していない理由は何ですか。

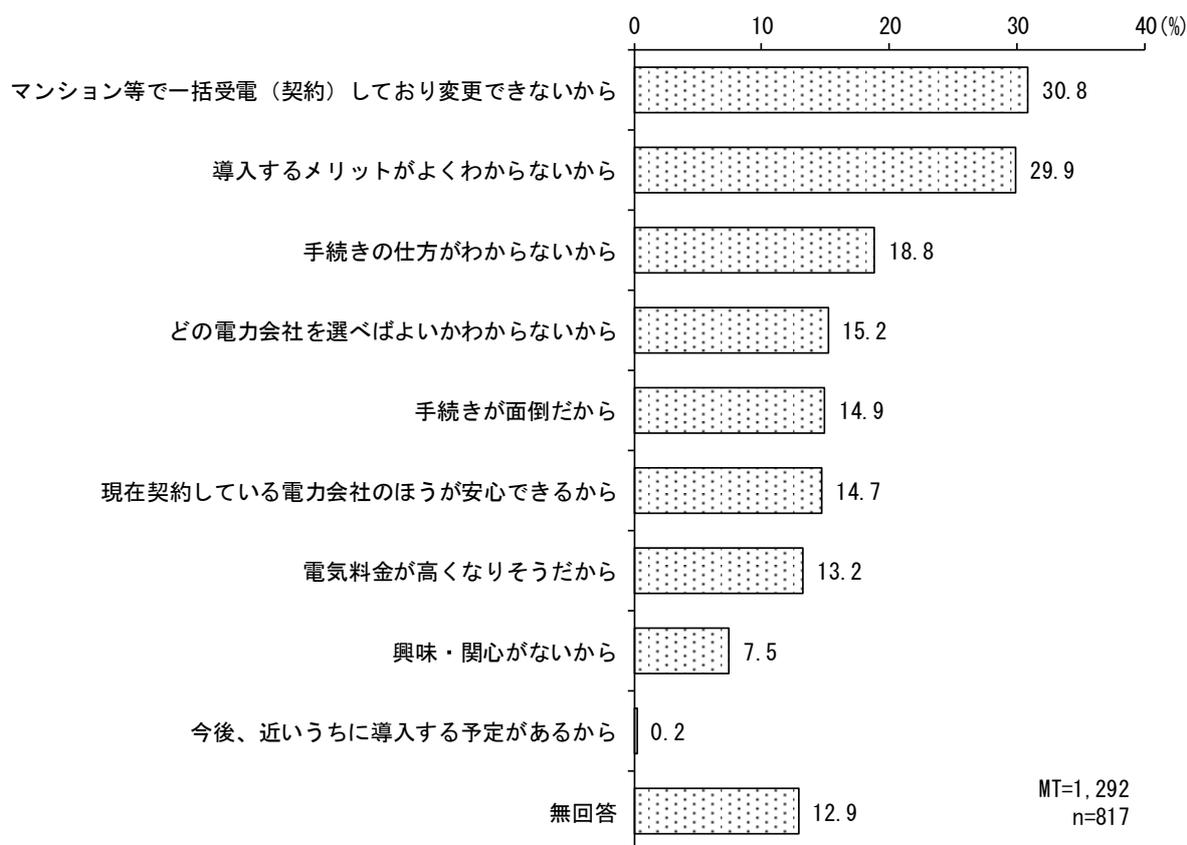
(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=817)
1 導入するメリットがよくわからないから	29.9%
2 現在契約している電力会社のほうが安心できるから	14.7
3 電気料金が高くなりそうだから	13.2
4 手続きの仕方がわからないから	18.8
5 手続きが面倒だから	14.9
6 どの電力会社を選べばよいかわからないから	15.2
7 興味・関心がないから	7.5
8 マンション等で一括受電（契約）しており変更できないから	30.8
9 今後、近いうちに導入する予定があるから	0.2
無回答	12.9

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

図3-6-2 再生可能エネルギー電力等を導入していない理由



再生可能エネルギー電力等を導入していない理由は、「マンション等で一括受電（契約）しており変更できないから」（30.8%）が約3割と最も高く、次いで「導入するメリットがよくわからないから」（29.9%）が3割弱、「手続きの仕方がわからないから」（18.8%）が2割近くと続いている。（図3-6-2）

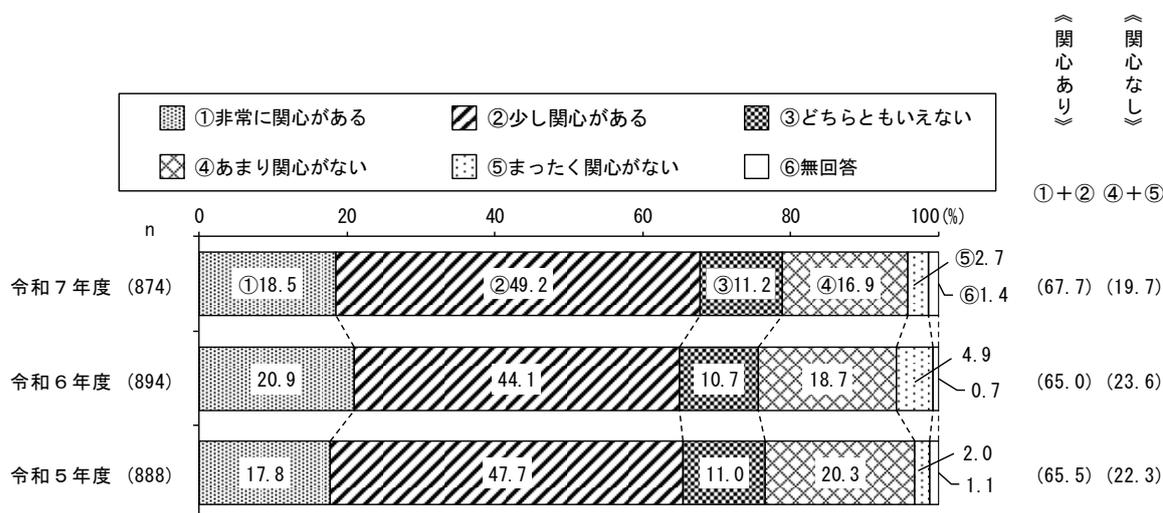
＜文化・芸術＞

(1) 新宿区の伝統文化や文化財への関心度

◎ 《関心あり》が6割台半ば超え

問19 あなたは、新宿区の伝統文化や文化財に関心がありますか。(〇は1つ)		(n=874)
1	非常に関心がある	18.5%
2	少し関心がある	49.2
3	どちらともいえない	11.2
4	あまり関心がない	16.9
5	まったく関心がない	2.7
	無回答	1.4

図3-7-1 新宿区の伝統文化や文化財への関心度
(経年推移)



新宿区の伝統文化や文化財への関心度は、「非常に関心がある」(18.5%)と「少し関心がある」(49.2%)を合わせた《関心あり》(67.7%)が6割台半ば超え、「あまり関心がない」(16.9%)と「まったく関心がない」(2.7%)を合わせた《関心なし》(19.7%)は2割弱となっている。

過去3年間の経年推移をみると、《関心あり》では、令和5年度(65.5%)から令和6年度(65.0%)にかけて0.5ポイント低くなっているものの、令和6年度(65.0%)から令和7年度(67.7%)にかけて2.7ポイント高くなっている。(図3-7-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
区の伝統文化や文化財への関心度	区の伝統文化や文化財への関心がある区民の割合	区の伝統文化や文化財の認知度、関心度を把握し、区民のまちへの愛着と誇りを醸成することにつなげるため	62.8%	67.7%	70.0%

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

(2) 関心のある事柄

◎「歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）」が6割台半ば

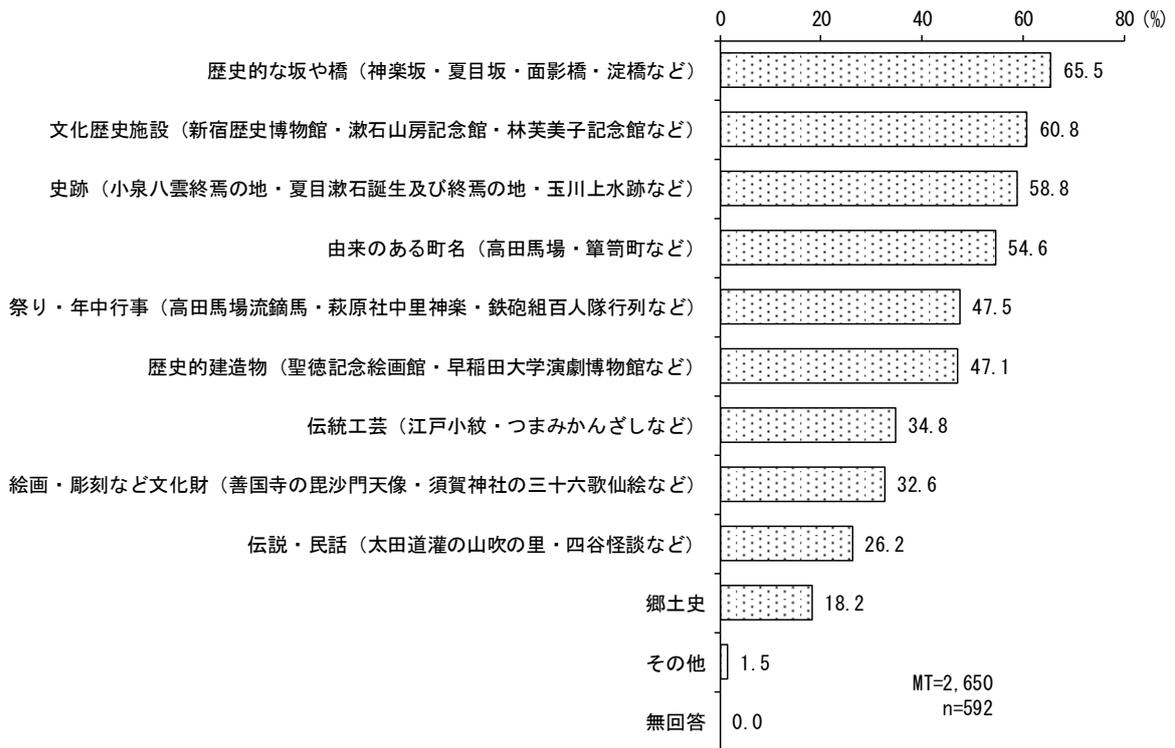
問19-1 問19で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

あなたが、関心があるのはどのようなものですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=592)
1 史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）	58.8%
2 文化歴史施設（新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など）	60.8
3 歴史的建造物（聖徳記念絵画館・早稲田大学演劇博物館など）	47.1
4 由来のある町名（高田馬場・笹塚町など）	54.6
5 歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）	65.5
6 絵画・彫刻など文化財（善国寺の毘沙門天像・須賀神社の三十六歌仙絵など）	32.6
7 祭り・年中行事（高田馬場流鏑馬・萩原社中里神楽・鉄砲組百人隊行列など）	47.5
8 郷土史	18.2
9 伝説・民話（太田道灌の山吹の里・四谷怪談など）	26.2
10 伝統工芸（江戸小紋・つまみかんざしなど）	34.8
11 その他	1.5
無回答	0.0

図3-7-2-1 関心のある事柄

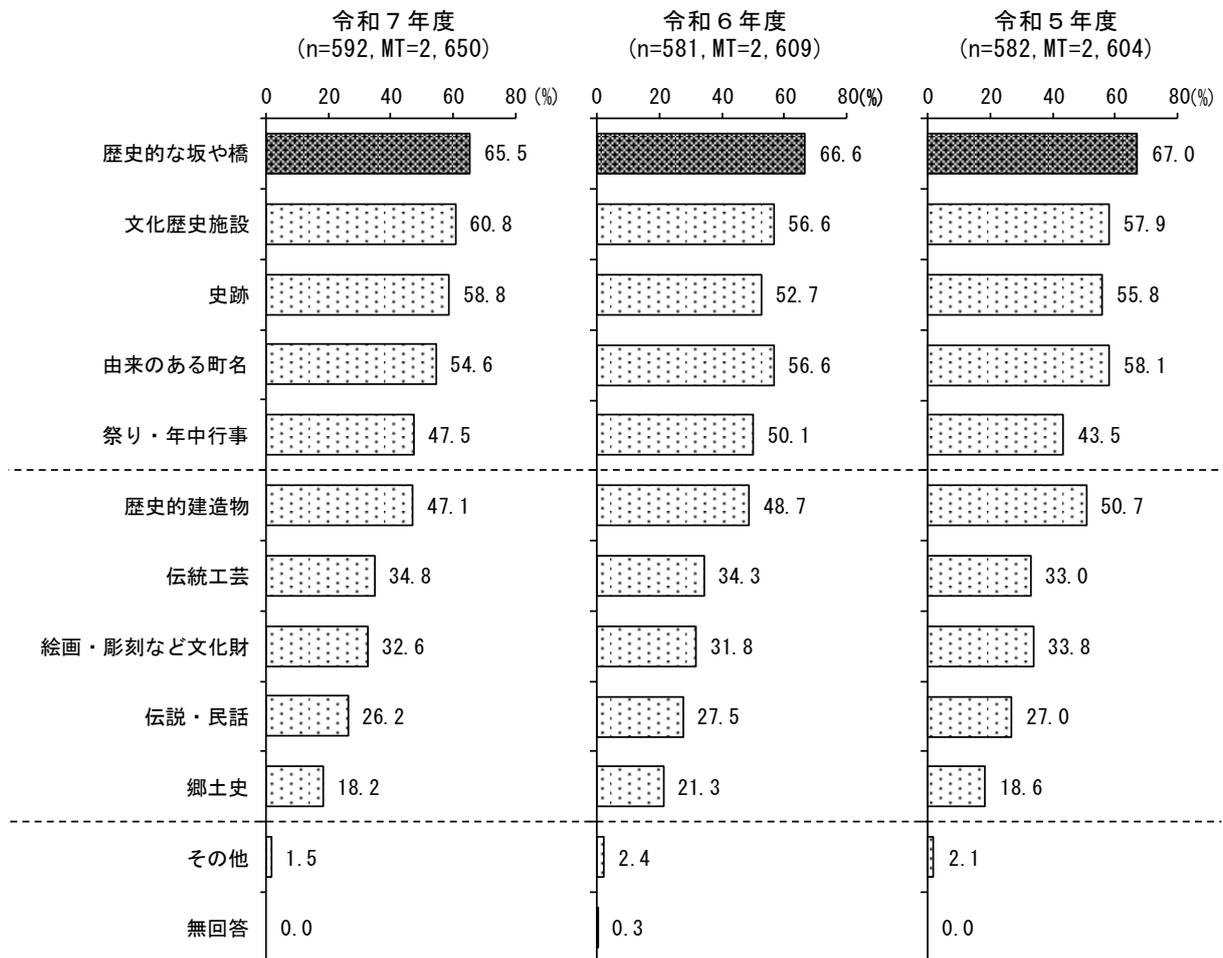


関心のある事柄は、「歴史的な坂や橋 (神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など)」(65.5%)が6割台半ばと最も高く、次いで「文化歴史施設 (新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など)」(60.8%)が約6割、「史跡 (小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など)」(58.8%)が6割近くと続いている。(図3-7-2-1)

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

図3-7-2-2 関心のある事柄
(経年推移)



過去3年間の経年推移をみると、「歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）」、「文化歴史施設（新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など）」、「史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）」、「由来のある町名（高田馬場・笹筒町など）」の4項目は、各年度とも5割を超えている。

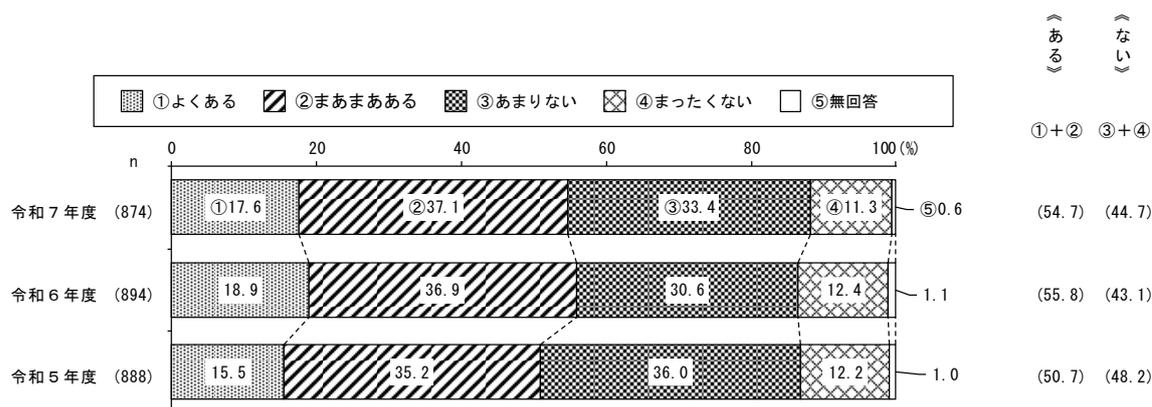
「史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）」では、令和5年度（55.8%）から令和6年度（52.7%）にかけて3.1ポイント低くなっているものの、令和6年度（52.7%）から令和7年度（58.8%）にかけて6.1ポイント高くなっている。（図3-7-2-2）

(3) 文化・芸術に触れる機会の有無

◎ 《ある》が5割台半ば近く

問20 あなたは、日頃、文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化・芸術を実際に体験する機会がありますか。(〇は1つ)		
(※)「文化・芸術」の範囲については、次の問20-1の選択肢をご参照の上、回答してください。		
		(n=874)
1	よくある	17.6%
2	まあまあある	37.1
3	あまりない	33.4
4	まったくない	11.3
	無回答	0.6

図3-7-3-1 文化・芸術に触れる機会の有無
(経年推移)



文化・芸術に触れる機会の有無は、「よくある」(17.6%)と「まあまあある」(37.1%)を合わせた《ある》(54.7%)が5割台半ば近くとなっている。一方、「あまりない」(33.4%)と「まったくない」(11.3%)を合わせた《ない》(44.7%)は4割台半ば近くとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、《ある》では、令和5年度(50.7%)から令和6年度(55.8%)にかけて5.1ポイント高くなっているものの、令和6年度(55.8%)から令和7年度(54.7%)にかけて1.1ポイント低くなっている。(図3-7-3-1)

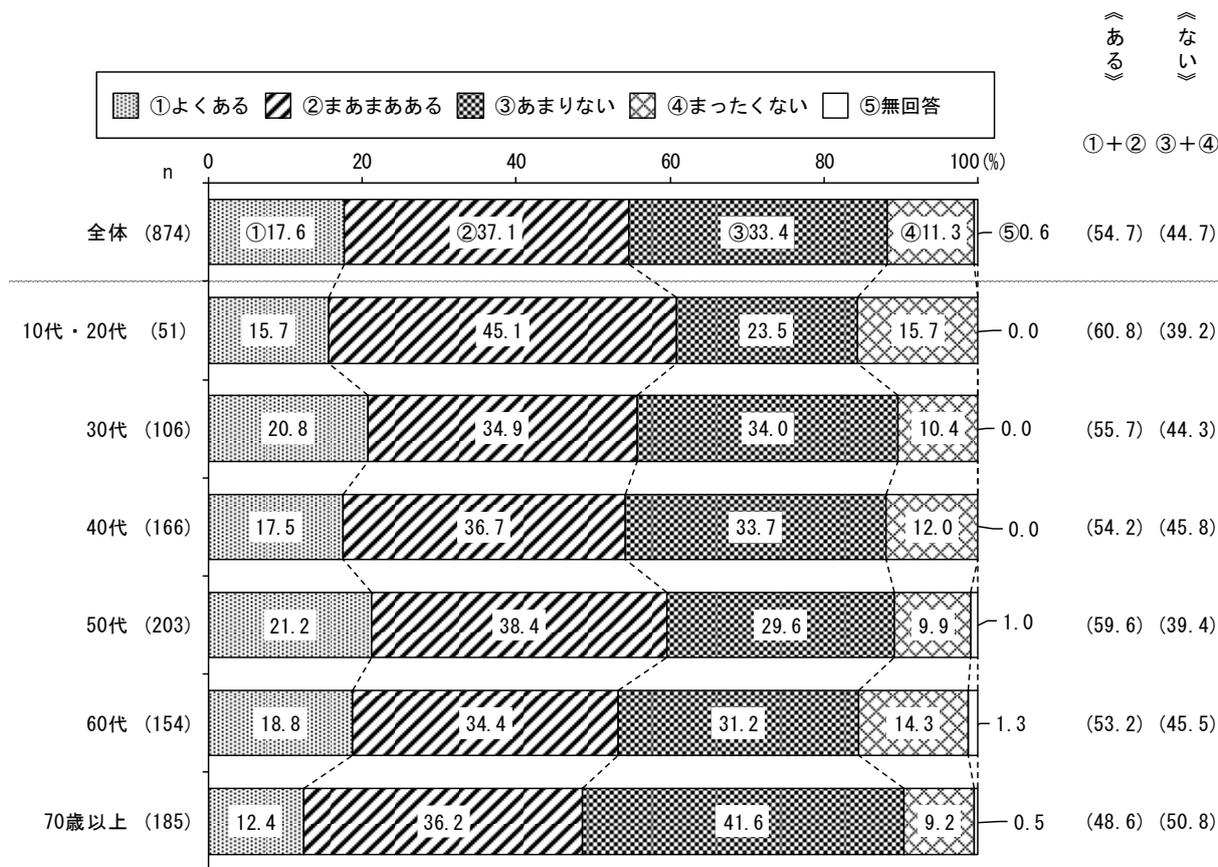
～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
文化芸術活動の状況	文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化芸術に触れる機会がある区民の割合	区民が文化芸術に接する機会があると感じているかを把握し、区民のまちへの愛着と誇りを醸成することにつなげるため	51.9%	54.7%	60.0%

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

図3-7-3-2 文化・芸術に触れる機会の有無
(年代別)



年代別で見ると、《ある》では、10代・20代(60.8%)が約6割と、全体(54.7%)を6.1ポイント上回っている。(図3-7-3-2)

(4) 関心のある内容

◎「映画・ビデオ」が6割台半ば超え

問20-1 問20で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

あなたが、関心があるのはどのようなものですか。

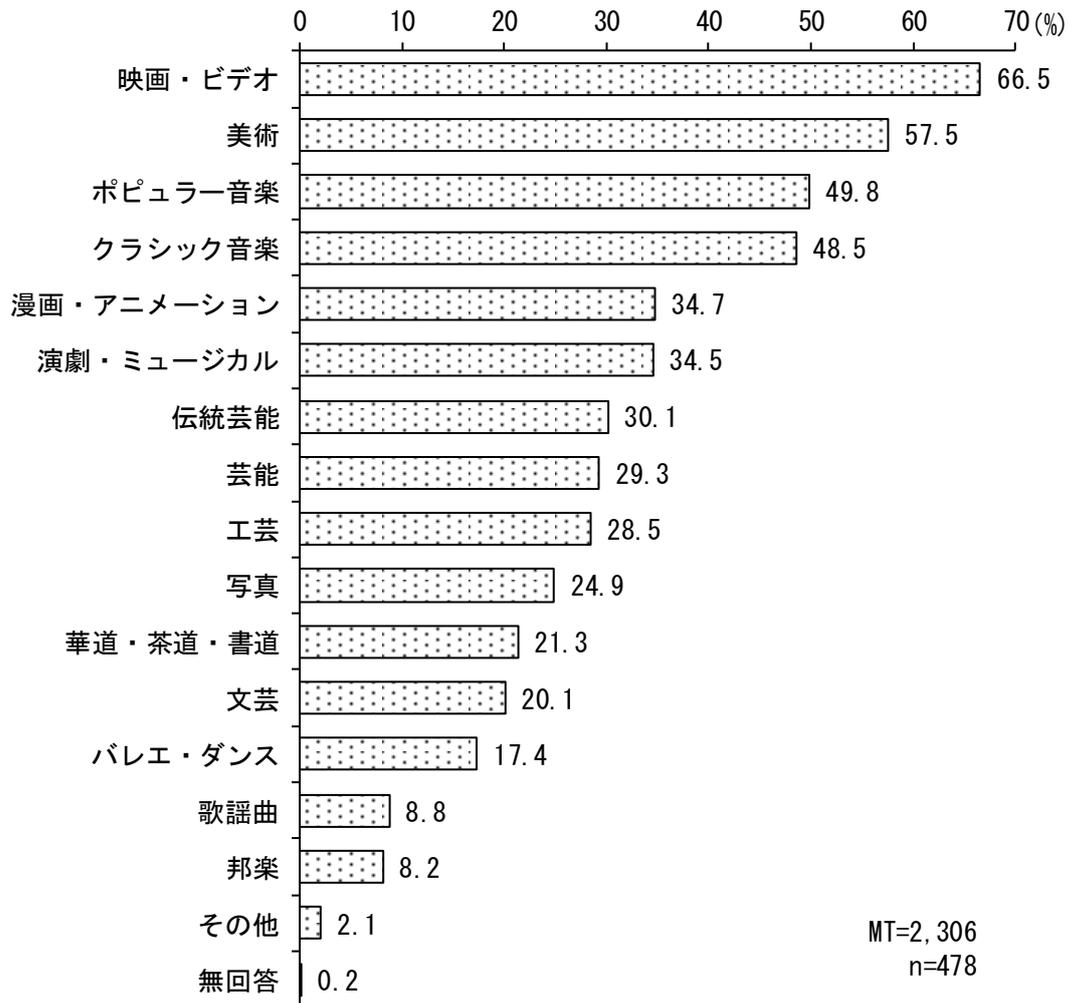
(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=478)
1 クラシック音楽 (オーケストラ・オペラ・合唱など)	48.5%
2 ポピュラー音楽 (ロック・ポップス・ジャズなど)	49.8
3 邦楽 (長唄・義太夫など)	8.2
4 歌謡曲 (演歌・民謡など)	8.8
5 美術 (絵画・彫刻など)	57.5
6 工芸 (陶芸・染色など)	28.5
7 映画・ビデオ	66.5
8 写真	24.9
9 演劇・ミュージカル	34.5
10 バレエ・ダンス	17.4
11 伝統芸能 (歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊など)	30.1
12 芸能 (落語・漫才・講談など)	29.3
13 華道・茶道・書道	21.3
14 文芸 (文学・俳句・短歌など)	20.1
15 漫画・アニメーション	34.7
16 その他	2.1
無回答	0.2

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

図3-7-4 関心のある内容



関心のある内容は、「映画・ビデオ」(66.5%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで「美術(絵画・彫刻など)」(57.5%)が5割台半ば超え、「ポピュラー音楽(ロック・ポップス・ジャズなど)」(49.8%)が5割弱、「クラシック音楽(オーケストラ・オペラ・合唱など)」(48.5%)が5割近くと続いている。(図3-7-4)

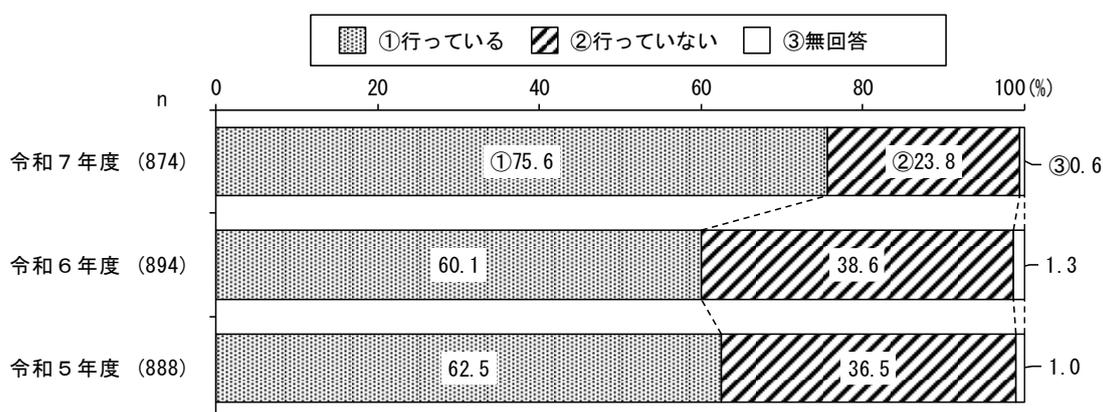
＜スポーツ・生涯学習等の実施状況＞

(1) スポーツ・生涯学習等の実施状況

◎「行っている」が7割台半ば

問21 あなたは現在、スポーツ・運動（気晴らしや健康づくりのためのウォーキング・散歩、ひとつ手前の駅で降車して歩くこと、エレベーターを使わず階段移動することや楽しみとして体を動かすレジャー、レクリエーションなどの身体活動を伴うもの）、文化・学習活動等を行っていますか。（○は1つ）		(n=874)
1	行っている	75.6%
2	行っていない	23.8
	無回答	0.6

図3-8-1-1 スポーツ・生涯学習等の実施状況
(経年推移)



スポーツ・生涯学習等の実施状況は、「行っている」(75.6%)が7割台半ば、「行っていない」(23.8%)が2割台半ば近くとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、「行っている」では、令和5年度(62.5%)から令和6年度(60.1%)にかけて2.4ポイント低くなっているものの、令和6年度(60.1%)から令和7年度(75.6%)にかけて15.5ポイント高くなっている。(図3-8-1-1)

※令和6年度の設問文は「あなたは現在、スポーツ・運動（ハイキング・ウォーキング、体操等を含む）、文化・学習活動等を行っていますか。（○は1つ）」

※令和5年度の設問文は「あなたは現在、スポーツ・軽度な身体活動（ハイキング・ウォーキング、体操等を含む）、文化・学習活動等を行っていますか。（○は1つ）」

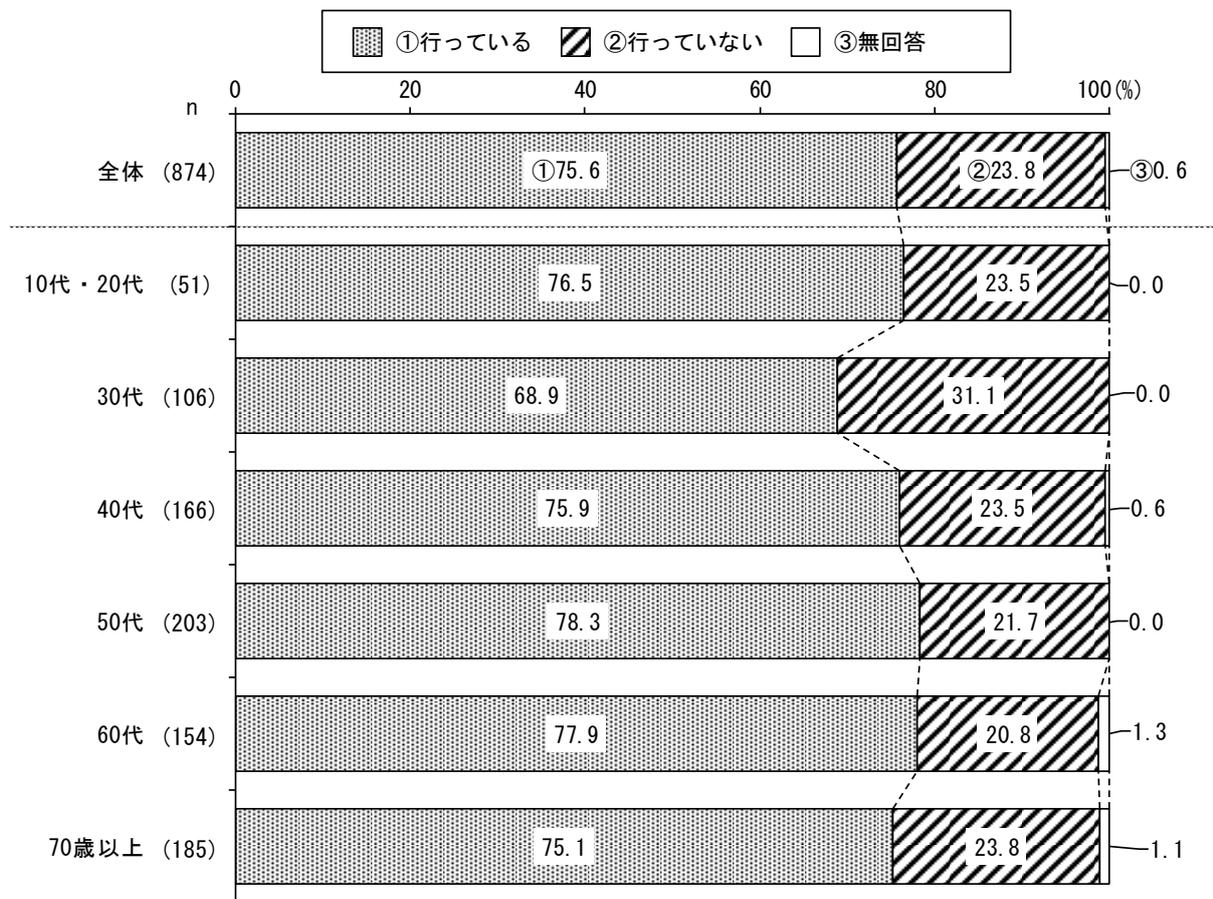
～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
学習・スポーツ活動の実施状況	学習・スポーツ活動を行っている区民の割合	生涯を通じて学習やスポーツ活動に取り組めるまちの実現に向けたため	56.4%	75.6%	65.0%

Ⅱ 調査の結果

（『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～）

図3-8-1-2 スポーツ・生涯学習等の実施状況
（年代別）



年代別で見ると、「行っている」では、30代（68.9%）が7割近くと、全体（75.6%）を6.7ポイント下回っている。（図3-8-1-2）

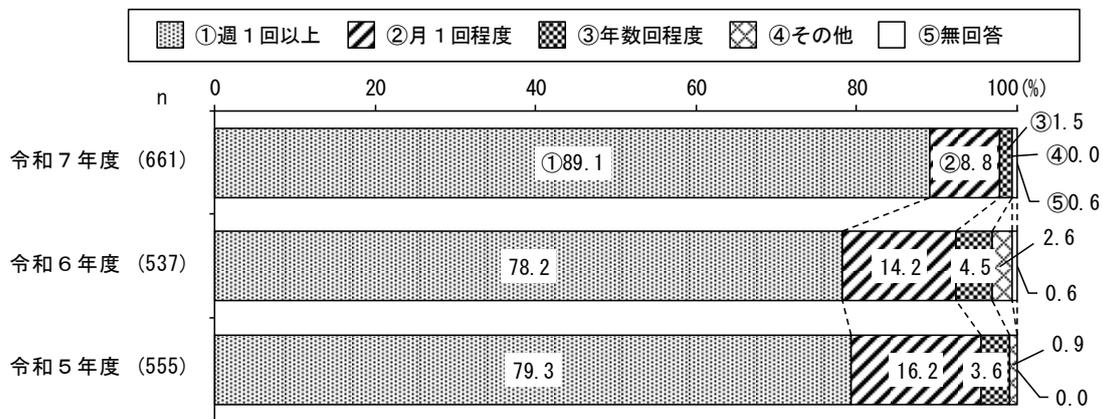
(2) スポーツ・生涯学習等の頻度

◎「週1回以上」が9割弱

問21-1 問21で、「1」に○をした方にお伺いします。
平均して、どのくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

	(n=661)
1 週1回以上	89.1%
2 月1回程度	8.8
3 年数回程度	1.5
4 その他	0.0
無回答	0.6

図3-8-2 スポーツ・生涯学習等の頻度
(経年推移)



スポーツ・生涯学習等の頻度は、「週1回以上」(89.1%)が9割弱となっている。
過去3年間の経年推移をみると、「週1回以上」では、令和5年度(79.3%)から令和6年度(78.2%)にかけて1.1ポイント低くなっているものの、令和6年度(78.2%)から令和7年度(89.1%)にかけて10.9ポイント高くなっている。(図3-8-2)

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

<スポーツ・運動の実施状況>

(1) スポーツ・運動の頻度

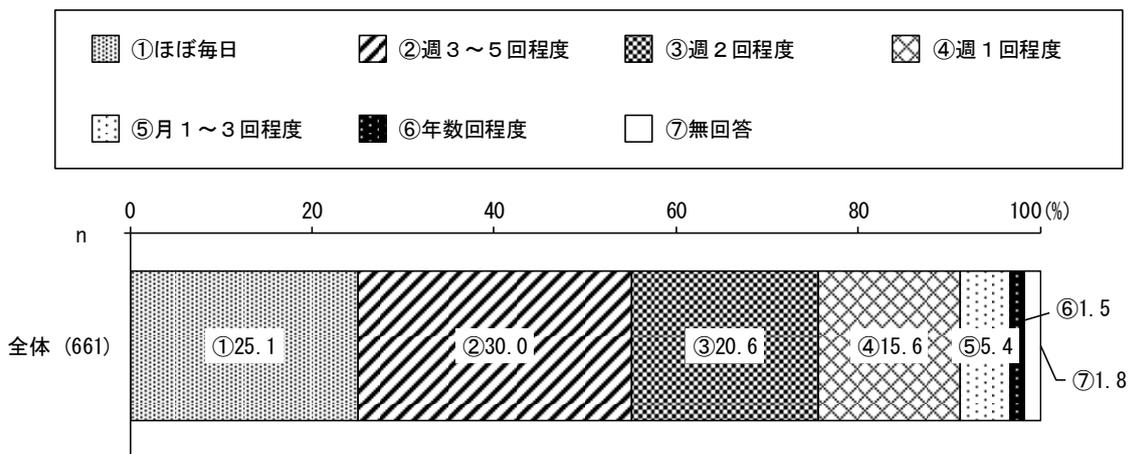
◎「週3～5回程度」が3割

問2 1-2 問2 1で、「1」に○をした方にお伺いします。

平均して、どのぐらいの頻度でスポーツや運動（気晴らしや健康づくりのためのウォーキング・散歩、ひとつ手前の駅で降車して歩くこと、エレベーターを使わず階段移動することや楽しみとして体を動かすレジャー、レクリエーションなどの身体活動を伴うもの）を行っていますか。（○は1つ）

	(n=661)
1 ほぼ毎日	25.1%
2 週3～5回程度	30.0
3 週2回程度	20.6
4 週1回程度	15.6
5 月1～3回程度	5.4
6 年数回程度	1.5
無回答	1.8

図3-9-1 スポーツ・運動の頻度



スポーツ・運動の頻度は、「週3～5回程度」(30.0%)が3割と最も高く、次いで「ほぼ毎日」(25.1%)が2割台半ば、「週2回程度」(20.6%)が約2割と続いている。(図3-9-1)

＜多文化共生＞

(1) 多文化共生の進捗度

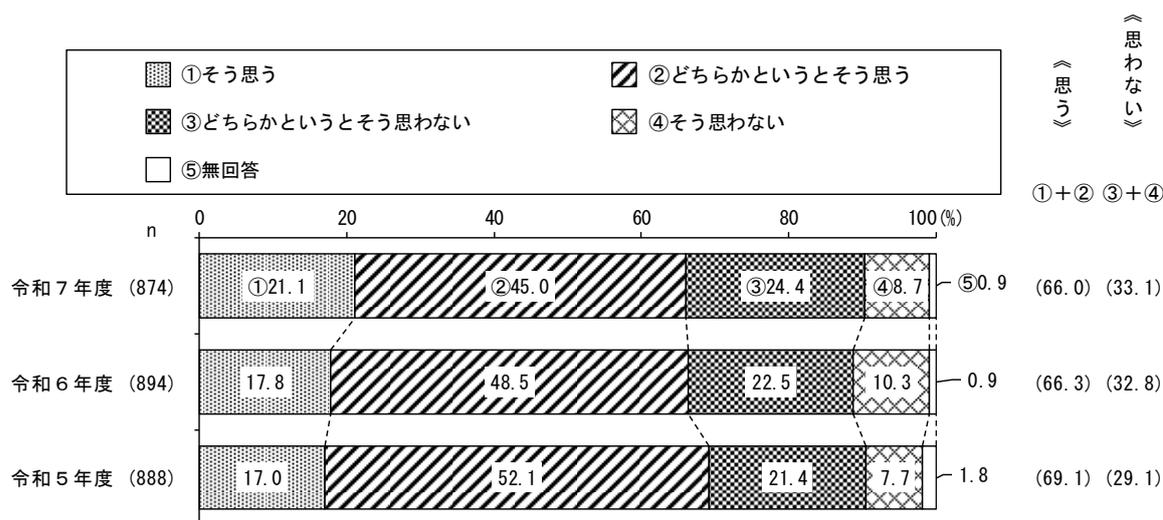
◎ 《思う》が6割台半ば超え

問22 新宿区では、様々な国籍・民族の人々が、互いに文化の違いを認め、理解し、地域で共に生きていく「多文化共生のまちづくり」を推進しています。
あなたは、地域における多文化共生が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

(n=874)

1	そう思う	21.1%
2	どちらかというと思う	45.0
3	どちらかというと思わない	24.4
4	そう思わない	8.7
	無回答	0.9

図3-10-1 多文化共生の進捗度
(経年推移)



多文化共生の進捗度は、「そう思う」(21.1%)と「どちらかというと思う」(45.0%)を合わせた《思う》(66.0%)が6割台半ば超えとなっている。一方、「どちらかというと思わない」(24.4%)と「そう思わない」(8.7%)を合わせた《思わない》(33.1%)は3割台半ば近くとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、「そう思う」では、令和5年度(17.0%)から令和7年度(21.1%)にかけて4.1ポイント高くなっている。一方、《思わない》では、令和5年度(29.1%)から令和7年度(33.1%)にかけて4.0ポイント高くなっている。(図3-10-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
地域における多文化共生の定着度	「地域における多文化共生が進んでいる」と回答する区民の割合	「多文化共生のまち」の実現の度合いを表すため	64.5%	66.0%	増加

II 調査の結果

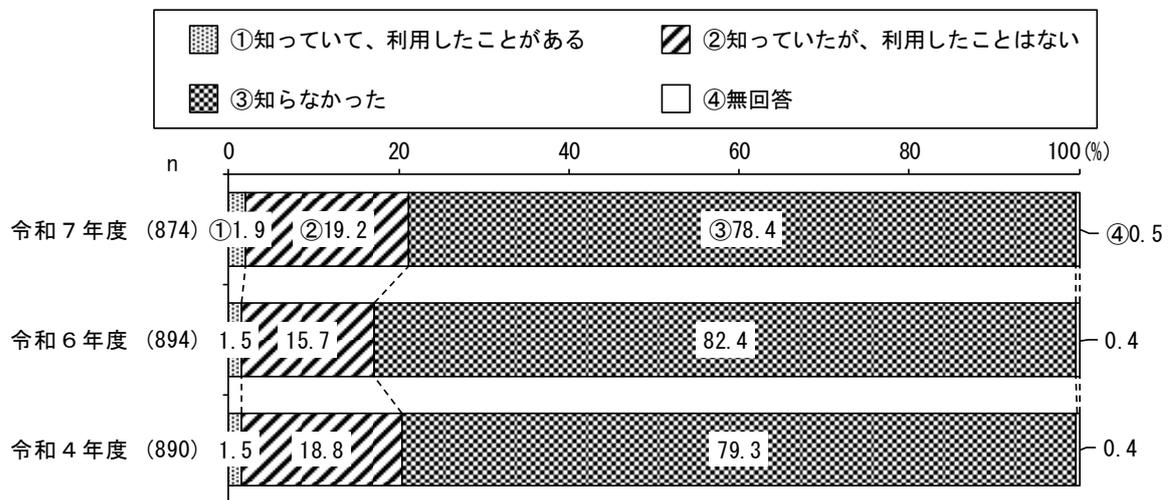
(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

(2) 「しんじゅく多文化共生プラザ」の認知度

◎「知らなかった」が8割近く

問23 新宿区では、「多文化共生のまちづくり」の拠点である「しんじゅく多文化共生プラザ」を設置して、日本語学習、資料・情報の提供、交流会や講座等を行っています。 あなたは、「しんじゅく多文化共生プラザ」を知っていますか。(〇は1つ)		(n=874)
1	知っていて、利用したことがある	1.9%
2	知っていたが、利用したことはない	19.2
3	知らなかった	78.4
	無回答	0.5

図3-10-2 「しんじゅく多文化共生プラザ」の認知度
(経年推移)



「しんじゅく多文化共生プラザ」の認知度は、「知らなかった」(78.4%)が8割近く、「知っていたが、利用したことはない」(19.2%)が2割弱となっている。

令和4年度からの経年推移をみると、「知らなかった」では、令和4年度(79.3%)から令和6年度(82.4%)にかけて3.1ポイント高くなっているものの、令和6年度(82.4%)から令和7年度(78.4%)にかけて4.0ポイント低くなっている。(図3-10-2)

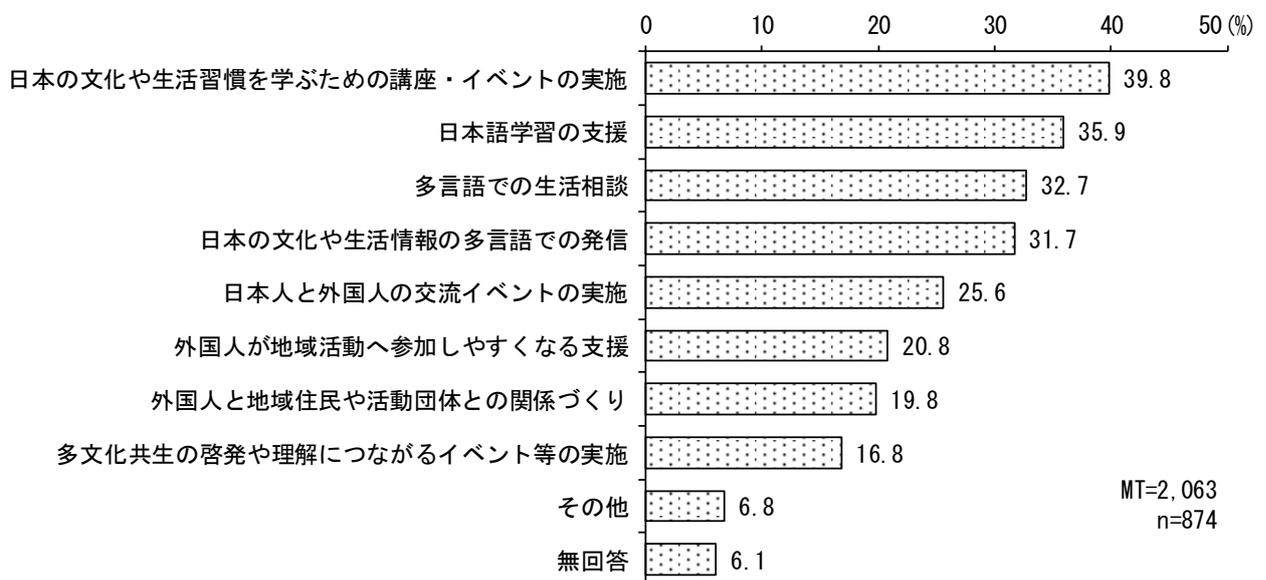
※令和5年度は調査未実施

(3) 「しんじゅく多文化共生プラザ」でより力を入れた方が良い取組

◎ 「日本の文化や生活習慣を学ぶための講座・イベントの実施」が4割弱

問24 「多文化共生のまちづくり」を進めるため、「しんじゅく多文化共生プラザ」では以下の取組を行っています。今後、より力を入れて取り組んだ方が良いと思うものはどれですか。(あてはまるものに3つまで○をつけてください)		(n=874)
1	多言語での生活相談	32.7%
2	日本語学習の支援	35.9
3	日本の文化や生活情報の多言語での発信	31.7
4	日本の文化や生活習慣を学ぶための講座・イベントの実施	39.8
5	日本人と外国人の交流イベントの実施	25.6
6	外国人と地域住民や活動団体との関係づくり	19.8
7	外国人が地域活動へ参加しやすくなる支援	20.8
8	多文化共生の啓発や理解につながるイベント等の実施	16.8
9	その他	6.8
	無回答	6.1

図3-10-3 「しんじゅく多文化共生プラザ」でより力を入れた方が良い取組



「しんじゅく多文化共生プラザ」でより力を入れた方が良い取組は、「日本の文化や生活習慣を学ぶための講座・イベントの実施」(39.8%)が4割弱と最も高く、次いで「日本語学習の支援」(35.9%)が3割台半ば、「多言語での生活相談」(32.7%)が3割強、「日本の文化や生活情報の多言語での発信」(31.7%)が3割強と続いている。(図3-10-3)

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

<平和に関する意識>

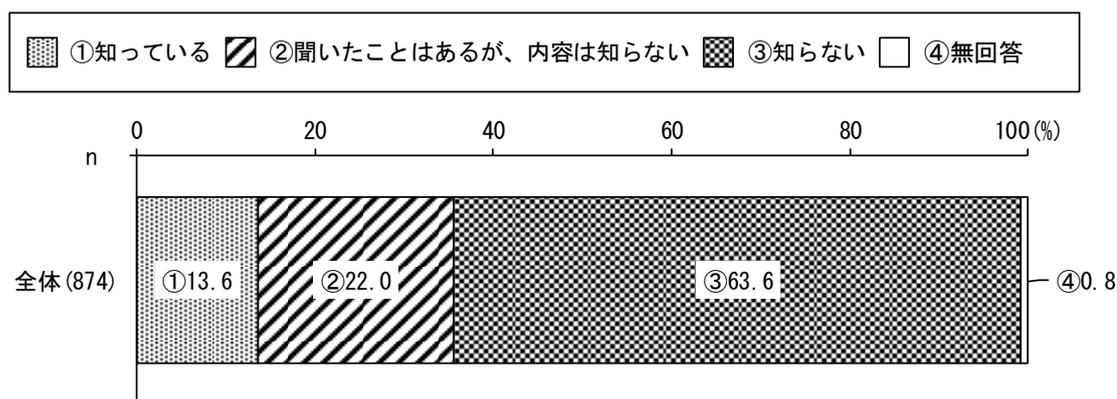
(1) 平和啓発事業の認知度

◎「知らない」が6割台半ば近く

問25 新宿区では、平和に関する認識を深めるため、戦争と平和に関する資料・ポスター展示やコンサート、親と子の平和派遣など平和啓発普及活動を推進することで、次世代に平和の大切さと戦争の悲惨さを伝えています。あなたは、区の平和啓発事業について知っていますか。(〇は1つ)

	(n=874)
1 知っている	13.6%
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	22.0
3 知らない	63.6
無回答	0.8

図3-11-1 平和啓発事業の認知度



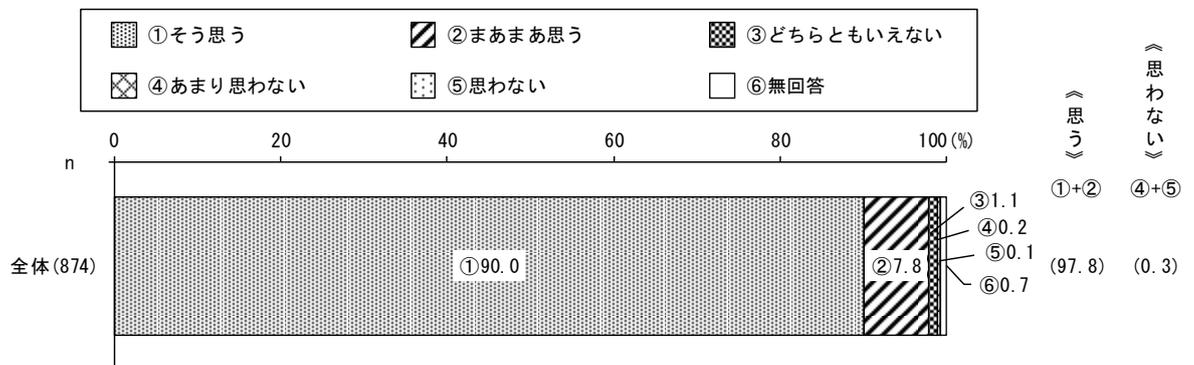
平和啓発事業の認知度は、「知らない」(63.6%)が6割台半ば近くと最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(22.0%)が2割強、「知っている」(13.6%)が1割台半ば近くと続いている。(図3-11-1)

(2) 平和の大切さ

◎ 《思う》が9割台半ば超え

問26 あなたは、平和について大切だと考えますか。(〇は1つ)		(n=874)
1	そう思う	90.0%
2	まあまあ思う	7.8
3	どちらともいえない	1.1
4	あまり思わない	0.2
5	思わない	0.1
	無回答	0.7

図3-11-2 平和の大切さ



平和の大切さについては、「そう思う」(90.0%)と「まあまあ思う」(7.8%)を合わせた《思う》(97.8%)が9割台半ば超えとなっている。(図3-11-2)

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

基本政策Ⅳ 健全な区財政の確立

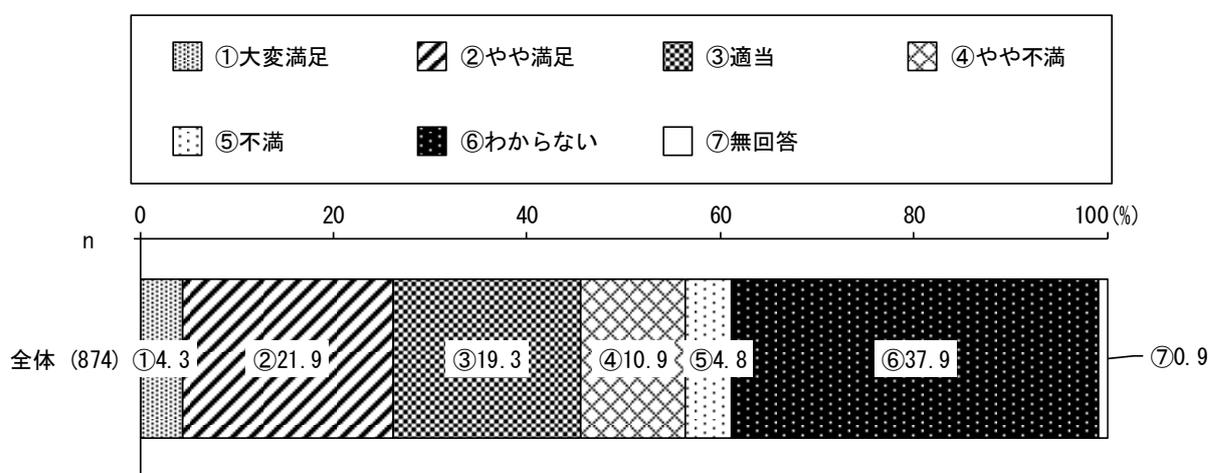
<ICTの利活用>

(1) DXの取り組みへの満足度

◎「やや満足」が2割強

問27 ICT（情報通信技術）の活用による区民サービスの向上や業務の効率化に向けた、新宿区のDXの取り組み（区民向けデジタルサービスの提供、キャッシュレス決済など）について満足していますか。（○は1つ）		(n=874)
1 大変満足		4.3%
2 やや満足		21.9
3 适当		19.3
4 やや不満		10.9
5 不満		4.8
6 わからない		37.9
無回答		0.9

図4-1-1 DXの取り組みへの満足度



DXの取り組みへの満足度は、「やや満足」(21.9%)が2割強で最も高く、次いで「适当」(19.3%)が2割弱、「やや不満」(10.9%)が約1割と続いている。一方、「わからない」(37.9%)が3割台半ばを超えとなっている。(図4-1-1)

(2) 行政サービスとして進めてほしいもの

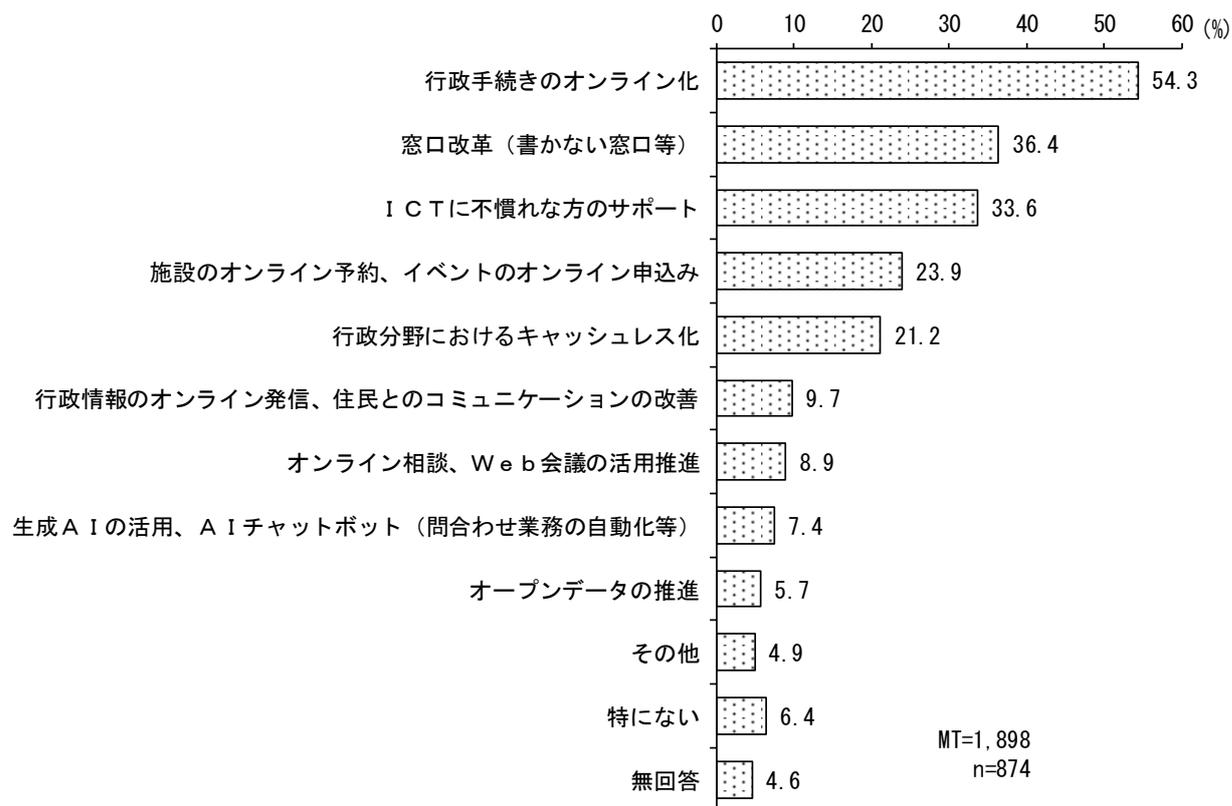
◎「行政手続きのオンライン化」が5割台半ば近く

問28 新宿区の行政サービスとして、進めてほしいものはどれですか。(あてはまるものに3つまで○をつけてください)		(n=874)
1	行政手続きのオンライン化	54.3%
2	窓口改革(書かない窓口等)	36.4
3	オンライン相談、Web会議の活用推進	8.9
4	生成AIの活用、AIチャットボット(問合せ業務の自動化等)	7.4
5	行政分野におけるキャッシュレス化	21.2
6	施設のオンライン予約、イベントのオンライン申込み	23.9
7	オープンデータの推進	5.7
8	行政情報のオンライン発信、住民とのコミュニケーションの改善	9.7
9	ICTに不慣れな方のサポート	33.6
10	その他	4.9
11	特にない	6.4
	無回答	4.6

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

図4-1-2 行政サービスとして進めてほしいもの



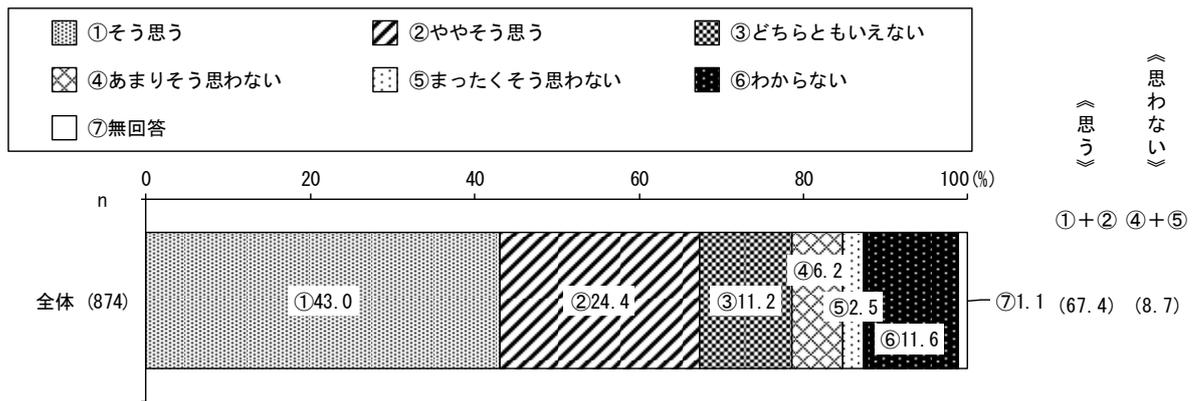
行政サービスとして進めてほしいものは、「行政手続きのオンライン化」(54.3%)が5割台半ば近くで最も高く、次いで「窓口改革(書かない窓口等)」(36.4%)が3割台半ばを超え、「I C T に不慣れな方のサポート」(33.6%)が3割台半ば近くと続いている。(図4-1-2)

(3) 窓口受付支援システムの利用希望

◎ 《思う》が6割台半ば超え

問29 新宿区では令和7年8月から一部の窓口において、窓口受付支援システムを試行導入しています。今後、このようなシステムを区役所の様々な窓口で利用したいと思いますか。(〇は1つ)		(n=874)
1	そう思う	43.0%
2	ややそう思う	24.4
3	どちらともいえない	11.2
4	あまりそう思わない	6.2
5	まったく思わない	2.5
6	わからない	11.6
	無回答	1.1

図4-1-3 窓口受付支援システムの利用希望



窓口受付支援システムの利用希望は、「そう思う」(43.0%)と「ややそう思う」(24.4%)を合わせた《思う》(67.4%)が6割台半ば超えとなっている。一方、「どちらともいえない」(11.2%)と「わからない」(11.6%)が1割強となっている。(図4-1-3)

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

基本政策Ⅴ 好感度1番の区役所

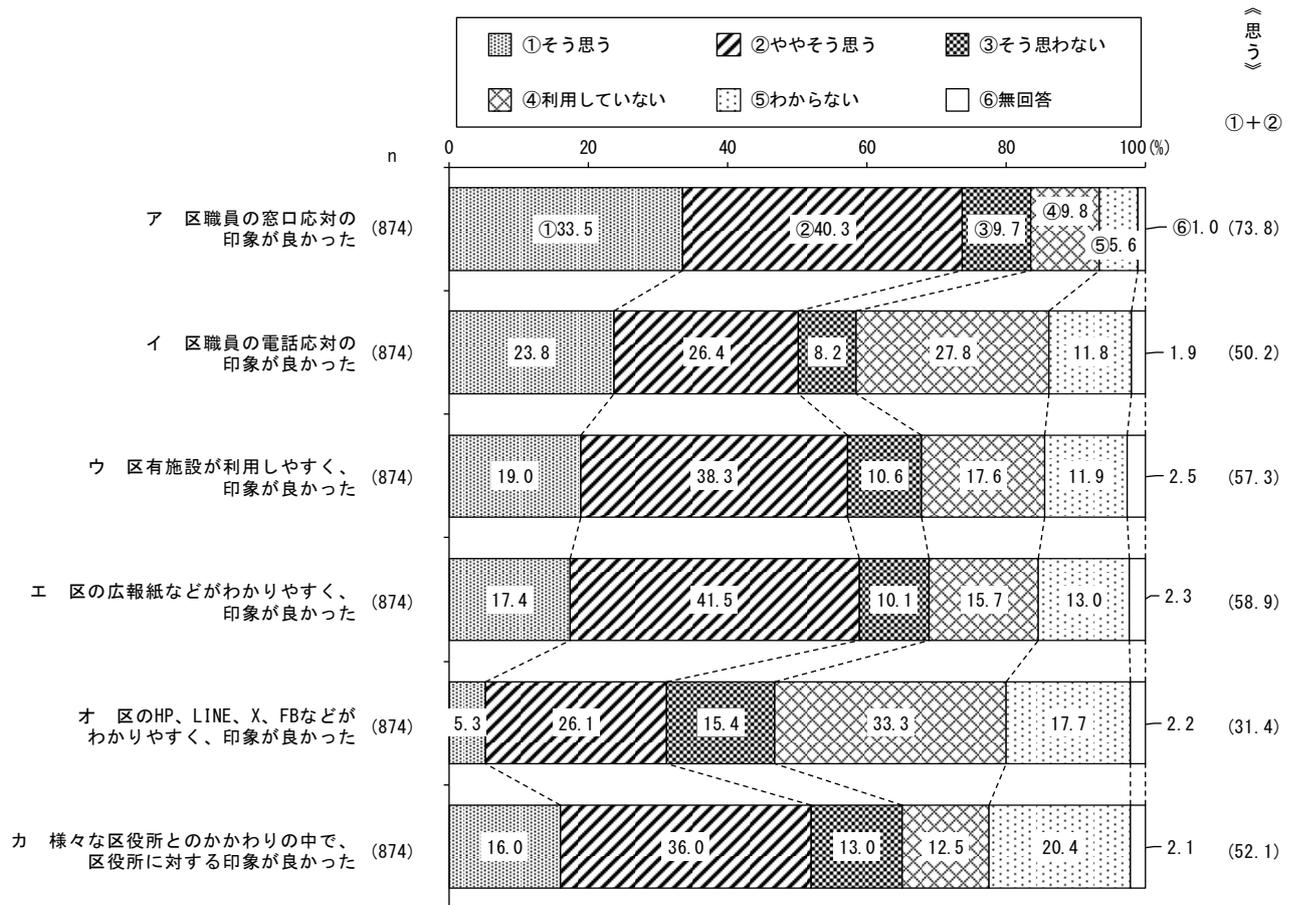
<行政サービス>

(1) 行政サービスの印象

◎《思う》は『区職員の窓口対応の印象が良かった』が7割台半ば近く

問30 あなたが新宿区役所とのかかわりの中で感じている区職員の対応や区の発行物のわかりやすさなどの印象をお答えください。 (ア～カそれぞれで、あてはまるものに1つだけ○をつけてください)						
(n=874)						
	そう思う	ややそう思う	そう思わない	利用していない	わからない	無回答
ア 区職員の窓口対応の印象が良かった	33.5%	40.3%	9.7%	9.8%	5.6%	1.0%
イ 区職員の電話対応の印象が良かった	23.8	26.4	8.2	27.8	11.8	1.9
ウ 区有施設が利用しやすく、印象が良かった	19.0	38.3	10.6	17.6	11.9	2.5
エ 区の広報紙などがわかりやすく、印象が良かった	17.4	41.5	10.1	15.7	13.0	2.3
オ 区のホームページ、LINE、X(旧ツイッター)、及びフェイスブックなどがわかりやすく、印象が良かった	5.3	26.1	15.4	33.3	17.7	2.2
カ 様々な区役所とのかかわりの中で、区役所に対する印象が良かった	16.0	36.0	13.0	12.5	20.4	2.1

図5-1-1 行政サービスの印象



行政サービスの印象は、「そう思う」は『区職員の窓口対応の印象が良かった』(33.5%)が3割台半ば近くで最も高く、次いで『区職員の電話対応の印象が良かった』(23.8%)が2割台半ば近く、『区有施設が利用しやすく、印象が良かった』(19.0%)が2割弱となっている。

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた《思う》は、『区職員の窓口対応の印象が良かった』(73.8%)が7割台半ば近くで最も高く、次いで『区の広報紙などが分かりやすく、印象が良かった』(58.9%)が6割近く、『区有施設が利用しやすく、印象が良かった』(57.3%)が5割台半ば超え、『様々な区役所とのかかわりの中で、区役所に対する印象が良かった』(52.1%)が5割強、『区職員の電話対応の印象が良かった』(50.2%)が約5割となっている。(図5-1-1)

～参考～ 新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)
区役所への好感度	様々な区役所とのかかわりの中で、職員の対応や区の発行物のわかりやすさなど印象が「良い」と感じる人の割合	職員の接遇対応力や分かりやすい情報提供は、区民との信頼関係を築く上で不可欠であるため	49.0%	52.1%	55.0%

Ⅱ 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

その他

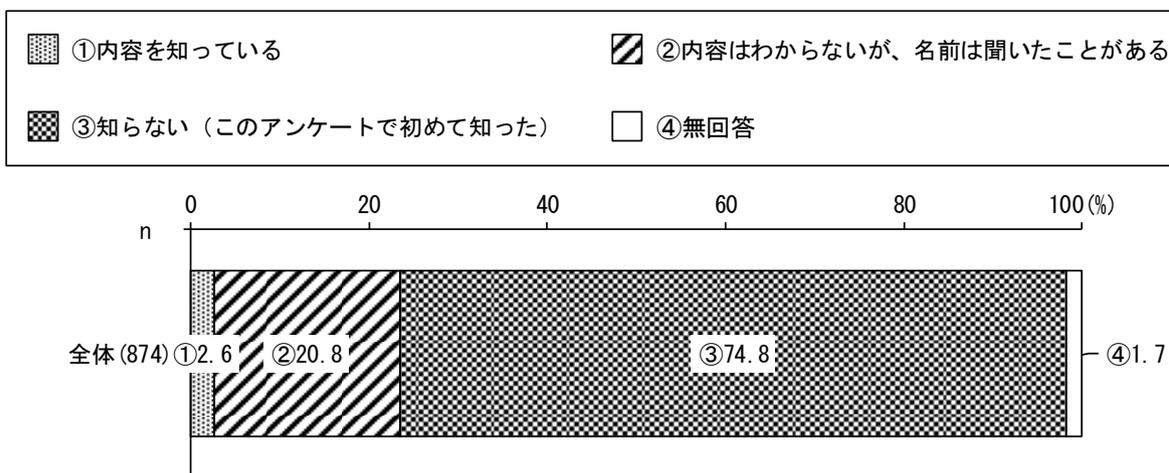
<新宿区自治基本条例>

(1) 新宿区自治基本条例の認知度

◎「知らない（このアンケートで初めて知った）」が7割台半ば近く

問3 1 あなたは、新宿区自治基本条例を知っていますか。(〇は1つ)		(n=874)
1	内容を知っている	2.6%
2	内容はわからないが、名前は聞いたことがある	20.8
3	知らない（このアンケートで初めて知った）	74.8
	無回答	1.7

図6-1-1 新宿区自治基本条例の認知度



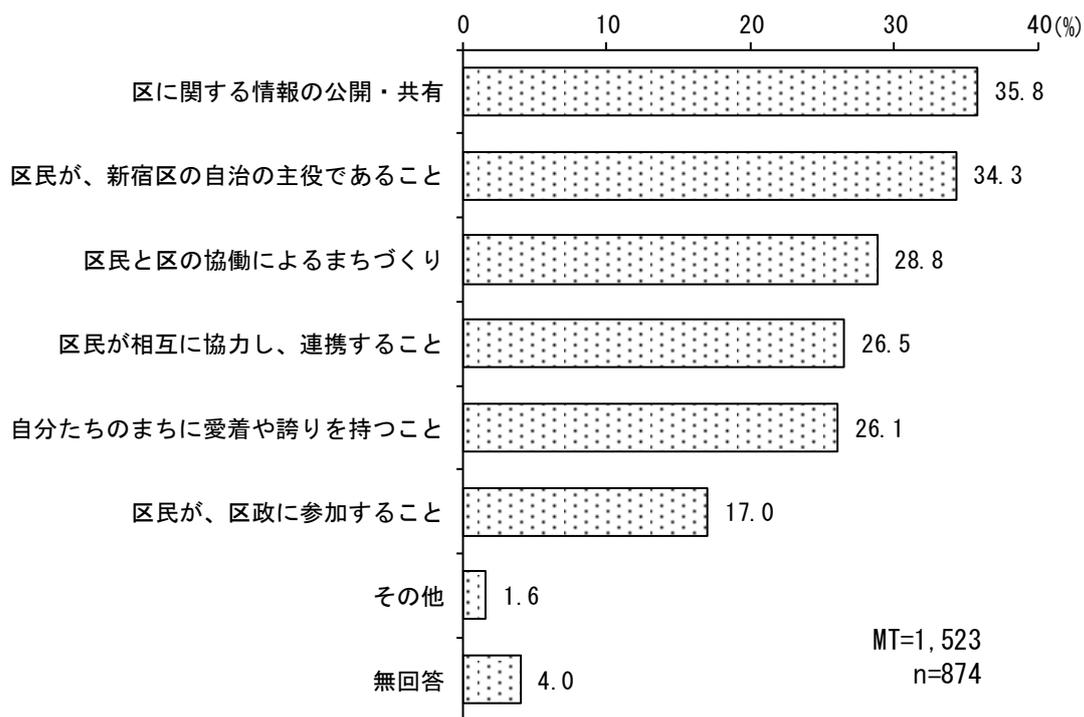
新宿区自治基本条例の認知度は、「知らない（このアンケートで初めて知った）」(74.8%)が7割台半ば近く、「内容はわからないが、名前は聞いたことがある」(20.8%)が約2割となっている。(図6-1-1)

(2) 自治において大切だと思うこと

◎「区に関する情報の公開・共有」が3割台半ば

問3 2 あなたは、新宿区の自治の基本的な考え方として、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものに2つまで○をつけてください)		(n=874)
1	区民が、新宿区の自治の主役であること	34.3%
2	区民が相互に協力し、連携すること	26.5
3	区に関する情報の公開・共有	35.8
4	区民が、区政に参加すること	17.0
5	区民と区の協働によるまちづくり	28.8
6	自分たちのまちに愛着や誇りを持つこと	26.1
7	その他	1.6
	無回答	4.0

図6-1-2 自治において大切だと思うこと



自治において大切だと思うことは、「区に関する情報の公開・共有」(35.8%)が3割台半ばで最も高く、次いで「区民が、新宿区の自治の主役であること」(34.3%)が3割台半ば近く、「区民と区の協働によるまちづくり」(28.8%)が3割近くと続いている。(図6-1-2)

II 調査の結果

(『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～)

<区政モニターアンケートで調査する「新宿区総合計画」の指標値>

基本政策Ⅰ 暮らしやすさ1番の新宿

指標名	指標の定義	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)	参照 区政モニター アンケート 報告書(頁)
主観的健康感	現在の健康状態を良いと感じている人の割合(65歳未満)	78.7%	65.2%	80.0%	第3回(38)
区民の地域福祉活動への協働意識	「高齢者の見守りを住民同士で行う」と考える区民の割合	8.5%	5.6%	20.0%	第4回(5)
障害者の社会参加のしやすさ	障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思う割合	14.8%	22.4%	増加	第4回(6)
障害者差別解消法認知度	障害者差別解消法の施行を知っている人の割合	44.7%	49.4%	増加	第4回(8)
性別役割分担意識に反対する人の割合	固定的な性別役割分担意識に反対する人の割合	53.4%	70.0%	増加	第1回(43)
地域コミュニティ活動への参加率	地域の中でコミュニティ活動を行っている人の割合	50.0%	50.7%	60.0%	第4回(10)

基本政策Ⅱ 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

指標名	指標の定義	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)	参照 区政モニター アンケート 報告書(頁)
家庭内の防災対策の普及	家庭内の防災対策実施率	65.2%	77.1%	90.0%	第4回(15)
避難場所・避難所の理解度	一時集合場所、一次避難所、避難場所を理解している区民の割合	49.1%	33.2%	80.0%	第4回(14)
区民の日常生活における安心度	居住地域で犯罪への不安を感じない区民の割合	40.6%	33.9%	増加	第4回(18)
消費者問題に対する関心度	悪質商法や消費者問題に対して関心がある区民の割合	78.3%	86.4%	85.0%	第4回(20)
消費生活センターの認知度	契約のトラブルなどで困った時に消費生活センターに相談できることを知っている区民の割合	60.9%	62.4%	70.0%	第4回(21)
感染の予防行動 1) 手洗い実施率	感染の予防行動をとっている区民の割合	84.2%	77.9%	90.0%	第4回(23)
感染の予防行動 2) 咳エチケット実施率	感染の予防行動をとっている区民の割合	77.7%	92.0%	85.0%	第4回(26)
食の安全に関する関心度	食中毒の予防や食品の安全に対して正しい知識を持つ区民の割合	65.8%	69.5%	80.0%	第4回(27)

基本政策Ⅲ 賑わい都市・新宿の創造

指標名	指標の定義	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)	参照 区政モニター アンケート 報告書(頁)
新宿駅周辺の回遊のしやすさに対する満足度	新宿駅周辺(東口・西口・南口など)が、訪れる人にとって、それぞれアクセスしやすいと思う区民の割合	18.4%	17.0%	30.0%	第4回(28)
歌舞伎町に対する区民のイメージ	以前と比較して歌舞伎町が賑わいのあるまちになったと思う人の割合	30.7%	43.7%	40.0%	第3回(11)
景観に対する区民意識	まちなみや景観が「良い」、または「まあまあ良い」と感じる区民の割合	42.8%	46.6%	60.0%	第4回(30)
地域特性を踏まえたまちづくりに対する区民意識	地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりが行われていると感じる区民の割合	39.8%	47.5%	60.0%	第4回(31)
道路の歩きやすさ満足度	安全で快適な歩きやすい道路だと感じる人の割合	24.0%	23.6%	増加	第4回(32)
公園利用者満足度	公園の利用に関して満足している区民の割合	68.9%	73.7%	75.0%	第4回(35)
環境に配慮した取組を行っている区民の割合	環境に配慮した取組を例示した上で、それらのいずれかを実施している区民の割合	93.9%	93.7%	取組率向上	第4回(38)
ごみの減量やリサイクルに取り組む区民の割合	「ごみの減量・リサイクルの推進に向けて取組を行っている」と回答する区民の割合	98.3%	99.7%	取組率向上	第2回(53)
区の伝統文化や文化財への関心度	区の伝統文化や文化財への関心がある区民の割合	62.8%	67.7%	70.0%	第4回(41)
文化芸術活動の状況	文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化芸術に触れる機会がある区民の割合	51.9%	54.7%	60.0%	第4回(45)
学習・スポーツ活動の実施状況	学習・スポーツ活動を行っている区民の割合	56.4%	75.6%	65.0%	第4回(49)
地域における多文化共生の定着度	「地域における多文化共生が進んでいる」と回答する区民の割合	64.5%	66.0%	増加	第4回(53)

基本政策Ⅴ 好感度1番の区役所

指標名	指標の定義	当初 (2017年度)	現状 (2025年度)	目標 (2027年度)	参照 区政モニター アンケート 報告書(頁)
区役所への好感度	様々な区役所とのかかわりの中で、職員の対応や区の発行物のわかりやすさなど印象が「良い」と感じる人の割合	49.0%	52.1%	55.0%	第4回(63)

Ⅲ 資料（調査票）

令和7年度 新宿区区政モニターアンケート

第4回

『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち
の実現に向けて
～新宿区総合計画～

新宿区総合計画に関する資料を同封しています。ご回答の前に一読ください。

アンケートご記入にあたってのお願い

1. 回答は、**あてはまる番号に○印**をつけてください。設問によって、**1つだけの場合や、あてはまるもの全てに○印をつけていただく場合**などがあります。問いの最後に“（○は1つ）”などと記載してありますので、確認のうえご記入をお願いいたします。
2. **前問の回答によって、次に答える設問が変わる場合があります。**
（例：問1で、「1」に○をした方におたずねします、など）
問いの前文や、回答欄の矢印等の指示に従ってお進みください。
3. 「その他」を選んだ場合には、（ ）内に具体的な回答をご記入ください。

全てご記入頂けましたら、同封の返信用封筒にて

整理票を取り外さず、

令和7年11月14日（金）までにご返送ください。

※整理票は、ご協力のお礼を発送するために必要なものです。開封後直ちに調査票から切り離しますので、調査票によって個人が特定されることは一切ございません。

問合せ先 新宿区総合政策部 区政情報課 広聴係

電話 03-5273-4065（直通）

FAX 03-5272-5500



ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。



『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちの実現に向けて ～新宿区総合計画～

現在、新宿区は基本構想と総合計画（2018年度から2027年度）に基づき、区民が安心して心豊かに住み続けられるまちを実現していくための取組を行っています。（同封資料参照）

総合計画では基本構想に定める「めざすまちの姿」の実現にどのくらい近づけたかを測定するため、目的に照らしてどのような成果があったかを示す成果指標を設けています。

基本政策Ⅰ 暮らしやすさ1番の新宿

<地域福祉>

問1 あなたは、高齢者や障害のある人などを見守り支えるための取組を、どのように推進していくのが良いと思いますか。(〇は1つ)

- 1 地域の住民同士で協力して取り組むのが良いと思う
- 2 区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う
- 3 区の責任で取り組むのが良いと思う

<障害者福祉>

問2 新宿のまちは、障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

- 1 そう思う → 問2-1へ 2 そう思わない 3 わからない

問2-1 問2で、「1」に〇をした方にお伺いします。どのような点でそう思いますか。
(あてはまるものいくつかでも〇をつけてください)

- 1 障害に関する正しい知識の普及啓発などが進んでいるから
- 2 企業などで働く障害のある人が増えているから
- 3 学校での障害に関する教育が進んでいるから
- 4 地域で障害者との交流が進んでいるから
- 5 障害者作品展やイベントなどが開催されているから
- 6 公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから
- 7 公共の施設等のトイレなどが利用しやすくなっているから
- 8 放置自転車や路上等障害物の対策が進んでいるから
- 9 道路の段差などが解消されてきているから

Ⅲ 資料（調査票）

問3 平成28年4月に「障害者差別解消法」が施行され、行政機関や民間事業者に対して、障害を理由とした差別の禁止や障害特性に合わせた配慮（合理的配慮）の提供が求められることになりました。あなたは、この法律について知っていますか。（○は1つ）

- 1 内容を詳しく知っている
- 2 内容を少し知っている
- 3 内容は分からないが、名前は聞いたことがある
- 4 内容も名前も知らない

<地域活動>

問4 次の地域活動・ボランティア活動のうち、参加している（したことがある）ものに○をつけてください。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

- 1 町会や自治会の活動（おまつりの手伝いや防災訓練、ゴミの分別回収や不用品のリサイクル活動、通学時などのパトロールなども含む）
- 2 高齢者クラブ、PTA、青少年育成委員会、消防団などの活動
- 3 民生委員・児童委員、公園サポーター、エコライフ推進員などの行政事業に協力する活動
- 4 学習、趣味、スポーツを主目的としたグループ活動
- 5 清掃・資源ごみの回収・リサイクル活動、交通安全、草刈りなどの地域活動
- 6 NPO（非営利活動団体）による活動
- 7 その他（ ）
- 8 活動に参加したことはない（理由： ）

Ⅲ 資料（調査票）

<安全・安心>

問7 あなたは、お住まいの地域で、犯罪への不安を感じることがありますか。(○は1つ)

1 不安を感じる	4 不安を感じない
2 少し感じる	5 わからない
3 あまり感じない	

→ 問7-1へ

問7-1 問7で、「1」～「3」に○をした方にお伺いします。

不安を感じる理由は何ですか。(あてはまるものはいくつでも○をつけてください)

1 事件に関する報道が多いから
2 近所に暗くて人通りの少ない、犯罪が発生しそうな場所があるから
3 近所や知り合いなど、身の回りに被害にあった人がいるから
4 近所で不審者を見かけることがあるから
5 自分や家族が被害にあったことがあるから
6 犯行の現場を目撃したことがあるから
7 何となく
8 その他 ()

<安全な消費生活>

問8 あなたは、悪質商法の被害防止や消費生活上のトラブル解決に対して関心がありますか。

(○は1つ)

1 非常に関心がある	4 まったく関心がない
2 少し関心がある	5 わからない
3 あまり関心がない	

問9 あなたは、契約のトラブルなどで困ったときに新宿区の消費生活センターに相談できることを知っていましたか。(○は1つ)

1 相談できることを知っていた
2 消費生活センターがあることは知っていたが、どのようなところか知らなかった
3 消費生活センターを知らなかった

＜感染症予防＞

問10 インフルエンザ等の感染症や食中毒を予防するための習慣として、次のようなときに石けんを使用し30秒程度流水で手洗いをしていますか。

(ア～ウそれぞれで、あてはまるものに1つだけ○をつけてください)

ア 食事の前	イ トイレの後	ウ 外から帰った時
1 毎回している	1 毎回している	1 毎回している
2 ほぼ毎回している	2 ほぼ毎回している	2 ほぼ毎回している
3 あまりしていない	3 あまりしていない	3 あまりしていない
4 まったくしていない	4 まったくしていない	4 まったくしていない

問11 咳・くしゃみの症状がある時、マスク等で鼻や口を覆う「咳エチケット」をしていますか。

(○は1つ)

1 毎回している	3 あまりしていない
2 ほぼ毎回している	4 まったくしていない

問12 あなたは、食の安全に関する正しい知識や情報を持っていると思いますか。(○は1つ)

1 持っている	4 あまり知識や情報はない
2 ほぼ持っている	5 わからない
3 持っていない	

基本政策Ⅲ 賑わい都市・新宿の創造

<新宿駅周辺の回遊性>

問13 新宿駅周辺は、歩きやすいまちと感じますか。(〇は1つ)

- | | | | | | | | |
|---|------|---|--------|---|--------|---|-------|
| 1 | そう思う | 2 | そう思わない | → | 問13-1へ | 3 | わからない |
|---|------|---|--------|---|--------|---|-------|

問13-1 問13で、「2」に〇をした方にお伺いします。そう思わない理由は何ですか。
(あてはまるものにいくつでも〇をつけてください)

- | | |
|----|---------------------------|
| 1 | 歩行者空間が狭く、混雑している |
| 2 | 駅前広場では多方面への歩行者が集中し、交錯している |
| 3 | 駅前広場のバリアフリー対応が不十分である |
| 4 | 駅東西の移動がしにくい |
| 5 | 駅南北の移動がしにくい |
| 6 | 駅から周辺のまちへの移動がしにくい |
| 7 | 鉄道の乗換えがしにくい |
| 8 | 駅の構造が複雑でわかりにくい |
| 9 | 駅の出入口がわかりにくい |
| 10 | その他 () |

<美しいまちづくり>

問14 あなたは、新宿区全体のまちなみや景観は良いと思いますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---|-----------|---|---------|
| 1 | 良い | 4 | あまり良くない |
| 2 | まあまあ良い | 5 | 良くない |
| 3 | どちらともいえない | | |

<地域特性をふまえたまちづくり>

問15 あなたは、新宿区では、地域の特性を活かして、住宅地における良好な居住環境の保全や商業地における賑わいの創出などを目指していくまちづくりが行われていると思いますか。

(〇は1つ)

- | | | | |
|---|-----------|---|---------|
| 1 | そう思う | 4 | あまり思わない |
| 2 | まあまあ思う | 5 | 思わない |
| 3 | どちらともいえない | | |

<安全で快適な道路>

問16 新宿区内の道路は、安全で快適な歩きやすい道路だと思いますか。(〇は1つ)

- 1 そう思う 2 そう思わない → 問16-1へ 3 わからない

問16-1 問16で、「2」に〇をした方にお伺いします。

そう思わない理由は何ですか。(あてはまるものにいくつでも〇をつけてください)

- 1 道路が傷んでいる
 2 段差や勾配がきつく使いづらい
 3 道路、歩道の幅員が狭い
 4 街路樹などみどりが少ない
 5 放置自転車など不正な利用が多い
 6 車や自転車の運転マナーが悪い
 7 その他 ()

<公園整備>

問17 あなたは、新宿区内の公園を利用していますか。(〇は1つ)

- 1 利用している → 問17-1へ 2 利用していない → 問17-2へ

問17-1 問17で、「1」に〇をした方にお伺いします。

新宿区内の公園に満足していますか。(〇は1つ)

- 1 満足している 4 やや不満足である
 2 やや満足している 5 不満足である
 3 どちらともいえない

問17-2 問17で、「2」に〇をした方にお伺いします。

あなたが公園を利用しない理由は何ですか。

(あてはまるものに3つまで〇をつけてください)

- 1 利用する時間がない
 2 近くに公園がない
 3 公園が狭い
 4 遊具、ベンチ等利用したい施設がない
 5 安心して利用できない
 6 施設が老朽化したり、汚くて使いづらい
 7 禁止されている事項が多い
 8 ルール、マナーを守らない利用者が多い
 9 その他 ()
 10 特にない

Ⅲ 資料（調査票）

<環境>

問18 環境に配慮するために、あなたが実施していることはありますか。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1 再生可能エネルギー電力等の導入（太陽光発電設備等の設置含む） | |
| 2 冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進 | |
| 3 省エネ機器（エネファームやエコキュートなど）の導入 | |
| 4 みどりのカーテンの育成など家庭の緑化 | |
| 5 家庭や地域での打ち水の実施 | |
| 6 ごみの適正な分別の徹底によるリサイクルの推進 | |
| 7 食品ロス（※）の削減や、プラスチックごみの削減などによるごみの減量 | |
| 8 環境学習情報センター等での環境学習講座や環境イベントへの参加 | |
| 9 環境に配慮した製品の購入 | |
| 10 その他（ | ） |
| 11 特にない | |

（※）食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことで、例えば、消費期限・賞味期限切れの食品や食べ残し、調理の際に過剰に除去した食べられる部分などを指します。

問18-1 問18で、「1」に○をしなかった方にお伺いします。

あなたが再生可能エネルギー電力等を導入していない理由は何ですか。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1 導入するメリットがよくわからないから | |
| 2 現在契約している電力会社のほうが安心できるから | |
| 3 電気料金が高くなりそうだから | |
| 4 手続きの仕方がわからないから | |
| 5 手続きが面倒だから | |
| 6 どの電力会社を選べばよいかわからないから | |
| 7 興味・関心がないから | |
| 8 マンション等で一括受電（契約）しており変更できないから | |
| 9 今後、近いうちに導入する予定があるから | |

<文化・芸術>

問19 あなたは、新宿区の伝統文化や文化財に関心がありますか。(〇は1つ)

<p>1 非常に関心がある</p>	→ 問19-1へ	4 あまり関心がない
<p>2 少し関心がある</p>		5 まったく関心がない
<p>3 どちらともいえない</p>		

問19-1 問19で、「1」または「2」に〇をした方にお伺いします。
 あなたが、関心があるのはどのようなものですか。
 (あてはまるものにいくつでも〇をつけてください)

1 史跡 (小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など)
2 文化歴史施設 (新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など)
3 歴史的建造物 (聖徳記念絵画館・早稲田大学演劇博物館など)
4 由来のある町名 (高田馬場・笹笥町など)
5 歴史的な坂や橋 (神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など)
6 絵画・彫刻など文化財 (善国寺の毘沙門天像・須賀神社の三十六歌仙絵など)
7 祭り・年中行事 (高田馬場流鏑馬・萩原社中里神楽・鉄砲組百人隊行列など)
8 郷土史
9 伝説・民話 (太田道灌の山吹の里・四谷怪談など)
10 伝統工芸 (江戸小紋・つまみかんざしなど)
11 その他 ()

問20 あなたは、日頃、文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化・芸術を実際に体験する機会がありますか。(〇は1つ)

(※)「文化・芸術」の範囲については、次の問20-1の選択肢をご参照の上、回答してください。

<p>1 よくある</p>	→ 問20-1へ	3 あまりない
<p>2 まあまあある</p>		4 まったくない

Ⅲ 資料（調査票）

問20-1 問20で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。
あなたが、関心があるのはどのようなものですか。
（あてはまるものいくつかでも○をつけてください）

- 1 クラシック音楽（オーケストラ・オペラ・合唱など）
- 2 ポピュラー音楽（ロック・ポップス・ジャズなど）
- 3 邦楽（長唄・義太夫など）
- 4 歌謡曲（演歌・民謡など）
- 5 美術（絵画・彫刻など）
- 6 工芸（陶芸・染色など）
- 7 映画・ビデオ
- 8 写真
- 9 演劇・ミュージカル
- 10 バレエ・ダンス
- 11 伝統芸能（歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊など）
- 12 芸能（落語・漫才・講談など）
- 13 華道・茶道・書道
- 14 文芸（文学・俳句・短歌など）
- 15 漫画・アニメーション
- 16 その他（）

<スポーツ・生涯学習等の実施状況>

問21 あなたは現在、スポーツ・運動（気晴らしや健康づくりのためのウォーキング・散歩、ひとつ手前の駅で降車して歩くこと、エレベーターを使わず階段移動することや楽しみとして体を動かすレジャー、レクリエーションなどの身体活動を伴うもの）、文化・学習活動等を行っていますか。(〇は1つ)

1 行っている → 問21-1～問21-2へ	2 行っていない
------------------------	----------

問21-1 問21で、「1」に〇をした方にお伺いします。

平均して、どのくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ)

1 週1回以上	3 年数回程度
2 月1回程度	4 その他 ()

<スポーツ・運動の実施状況>

問21-2 問21で、「1」に〇をした方にお伺いします。

平均して、どのくらいの頻度でスポーツや運動（気晴らしや健康づくりのためのウォーキング・散歩、ひとつ手前の駅で降車して歩くこと、エレベーターを使わず階段移動することや楽しみとして体を動かすレジャー、レクリエーションなどの身体活動を伴うもの）を行っていますか。(〇は1つ)

1 ほぼ毎日
2 週3～5回程度
3 週2回程度
4 週1回程度
5 月1～3回程度
6 年数回程度

Ⅲ 資料（調査票）

<多文化共生>

問22 新宿区では、様々な国籍・民族の人々が、互いに文化の違いを認め、理解し、地域で共に生きていく「多文化共生のまちづくり」を推進しています。あなたは、地域における多文化共生が進んでいると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかというと思わない |
| 2 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |

問23 新宿区では、「多文化共生のまちづくり」の拠点である「しんじゅく多文化共生プラザ」を設置して、日本語学習、資料・情報の提供、交流会や講座等を行っています。あなたは、「しんじゅく多文化共生プラザ」を知っていますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------|
| 1 知っていて、利用したことがある |
| 2 知っていたが、利用したことはない |
| 3 知らなかった |

問24 「多文化共生のまちづくり」を進めるため、「しんじゅく多文化共生プラザ」では以下の取組を行っています。今後、より力を入れて取り組んだ方が良いと思うものはどれですか。(あてはまるものに3つまで○をつけてください)

- | |
|------------------------------|
| 1 多言語での生活相談 |
| 2 日本語学習の支援 |
| 3 日本の文化や生活情報の多言語での発信 |
| 4 日本の文化や生活習慣を学ぶための講座・イベントの実施 |
| 5 日本人と外国人の交流イベントの実施 |
| 6 外国人と地域住民や活動団体との関係づくり |
| 7 外国人が地域活動へ参加しやすくなる支援 |
| 8 多文化共生の啓発や理解につながるイベント等の実施 |
| 9 その他 () |

<平和に関する意識>

問25 新宿区では、平和に関する認識を深めるため、戦争と平和に関する資料・ポスター展示やコンサート、親と子の平和派遣など平和啓発普及活動を推進することで、次世代に平和の大切さと戦争の悲惨さを伝えています。あなたは、区の平和啓発事業について知っていますか。(〇は1つ)

- | |
|---------------------|
| 1 知っている |
| 2 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 3 知らない |

問26 あなたは、平和について大切だと考えますか。(〇は1つ)

- | |
|-------------|
| 1 そう思う |
| 2 まあまあそう思う |
| 3 どちらともいえない |
| 4 あまり思わない |
| 5 思わない |

基本政策Ⅳ 健全な区財政の確立

<ICTの利活用>

問27 ICT（情報通信技術）の活用による区民サービスの向上や業務の効率化に向けた、新宿区のDX（※）の取り組み（区民向けデジタルサービスの提供、キャッシュレス決済など）について満足していますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 大変満足 | 4 やや不満 |
| 2 やや満足 | 5 不満 |
| 3 適当 | 6 わからない |

(※) デジタル・トランスフォーメーションの略であり、ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

Ⅲ 資料（調査票）

問28 新宿区の行政サービスとして、進めてほしいものはどれですか。

（あてはまるものに3つまで○をつけてください）

1	行政手続のオンライン化
2	窓口改革（書かない窓口等）
3	オンライン相談、Web会議の活用推進
4	生成AIの活用、AIチャットボット（問合せ業務の自動化等）
5	行政分野におけるキャッシュレス化
6	施設のオンライン予約、イベントのオンライン申込み
7	オープンデータの推進
8	行政情報のオンライン発信、住民とのコミュニケーションの改善
9	ICTに不慣れな方のサポート
10	その他（ ）
11	特になし

問29 新宿区では令和7年8月から一部の窓口において、窓口受付支援システム（※）を試行導入しています。今後、このようなシステムを区役所の様々な窓口で利用したいと思いますか。（○は1つ）

1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ややそう思う	5	まったくそう思わない
3	どちらともいえない	6	わからない

（※）マイナンバーカード等の本人確認書類から券面記載事項を読み取り、氏名、住所、生年月日の情報を申請書等に転記するシステム。

基本政策V 好感度1番の区役所

<行政サービス>

問30 あなたが新宿区役所とのかかわりの中で感じている区職員の対応や区の発行物のわかりやすさなどの印象をお答えください。

(ア～カそれぞれで、あてはまるものに1つだけ○をつけてください)

	そう思う	ややそう思う	そう思わない	利用していない	わからない
ア 区職員の窓口対応の印象が良かった	1	2	3	4	5
イ 区職員の電話対応の印象が良かった	1	2	3	4	5
ウ 区有施設が利用しやすく、印象が良かった	1	2	3	4	5
エ 区の広報紙などがわかりやすく、印象が良かった	1	2	3	4	5
オ 区のホームページ、LINE、X（旧ツイッター）、及びフェイスブックなどがわかりやすく、印象が良かった	1	2	3	4	5
カ 様々な区役所とのかかわりの中で、区役所に対する印象が良かった	1	2	3	4	5

Ⅲ 資料（調査票）

＜新宿区自治基本条例＞

問3 1 あなたは、新宿区自治基本条例を知っていますか。(○は1つ)

- 1 内容を知っている
- 2 内容はわからないが、名前は聞いたことがある
- 3 知らない（このアンケートで初めて知った）

問3 2 あなたは、新宿区の自治（※1）の基本的な考え方として、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものに2つまで○をつけてください)

- 1 区民（※2）が、新宿区の自治の主役であること
- 2 区民が相互に協力し、連携すること
- 3 区に関する情報の公開・共有
- 4 区民が、区政に参加すること
- 5 区民と区の協働（※3）によるまちづくり
- 6 自分たちのまちに愛着や誇りを持つこと
- 7 その他（ ）

（※1）自治とは、自分たちのことは自分たちで考え、自分たちで責任をもって決めることです。新宿区自治基本条例では、区政運営の原則などの基本的ルールを定め、区民・議会・区の責務と役割を明確にすることによって、新宿区の自治がより推進されるようにしています。

（※2）新宿区の自治や地域の課題解決のためには、新宿区に住所を有する住民が中心であることはもちろんですが、新宿区に関わる様々な主体が担い手となることが欠かせません。新宿区自治基本条例では、区民の定義を、まず、住所を有する者である住民、更に、新宿区で働く者、学ぶ者、活動する者及び活動する団体としています。

（※3）区民と区の協働とは、地域社会を構成する多くの人たちと区が、持てる力を出し合い、共に考え行動しながら、共通する課題の解決に努め、暮らしやすい地域社会をともに創りあげていくことをいいます。

—— 引き続き、回答者の属性のご記入をお願いします ——

※調査結果を統計処理する際に必要ですので、以下の回答者の属性をご記入ください。

※調査票についている「整理票」は、ご協力のお礼をお送りするために必要ですので、取り外さずにそのままご返送ください。新宿区に到着後、整理票は調査票から取り外して保管しますので、調査票から個人が特定されることはございません。

回答者の属性

問ア あなたのお住まいの地域（所管する特別出張所の地域）をお選びください。（〇は1つ）

1 四谷	6 戸塚
2 簗笥町	7 落合第一
3 榎町	8 落合第二
4 若松町	9 柏木
5 大久保	10 角筈・区役所

問イ 性別をお答えください。（〇は1つ）

1 男性	2 女性	3 ()
------	------	-------

問ウ あなたの年齢（満年齢）を、次の中からお選びください。（〇は1つ）

1 18～19歳	8 50～54歳
2 20～24歳	9 55～59歳
3 25～29歳	10 60～64歳
4 30～34歳	11 65～69歳
5 35～39歳	12 70～74歳
6 40～44歳	13 75～79歳
7 45～49歳	14 80歳以上

問エ あなたのご職業を、次の中からお選びください。（〇は1つ）

<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> 1 会社員・団体職員 2 会社役員・団体役員 3 パート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など 4 自営業、自由業（開業医、弁護士、司法書士なども含む） 5 学生 </div>	→問エー1へ
6 専業主婦・主夫	
7 無職	
8 その他 ()	

問エー1 問エで、「1」～「5」に〇をした方にお伺いします。
現在のあなたの職場・学校はどこにありますか。（〇は1つ）

1 新宿区内	2 新宿区外
--------	--------

Ⅲ 資料（調査票）

問オ 現在、あなたは誰かと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続柄で、同居している方すべてに○をしてください。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

<p>1 子 2 妻または夫 3 親 4 祖父母 5 孫 6 兄弟姉妹 7 その他（ ） 8 ひとり暮らし</p>	<p>1～7の方は、 → 問オ－1～問オ－2へ</p>
--	---------------------------------

問オ－1 問オで、「1」～「7」に○をした方にお伺いします。同居している人は、あなたを除いて全員で何人ですか。

【 】の中に人数を記入してください。

同居している人は、あなた＋【 】人

問オ－2 問オで、「1 子」に○をした方にお伺いします。同居している子の就学状況は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1 一番上の子が小学校入学前	3 一番上の子が高・大学生
2 一番上の子が小・中学生	4 一番上の子が学校を卒業

問カ あなたは新宿区に住んで何年になりますか。（○は1つ）

1 1年未満	5 10年以上20年未満
2 1年以上3年未満	6 20年以上30年未満
3 3年以上5年未満	7 30年以上
4 5年以上10年未満	

問キ 現在のあなたの住宅の形態は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

一戸建て	集合住宅
1 持ち家の一戸建て	5 分譲マンション・アパート (自己所有のものを含む)
2 賃貸の一戸建て	6 賃貸マンション・アパート
3 社宅・公務員官舎の一戸建て	7 賃貸のUR都市機構(旧公団) ・公社のマンション・アパート
4 その他 ()	8 賃貸の都営・区営住宅
	9 社宅・公務員官舎
	10 その他 ()

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
お手数をおかけしますが、同封の返信用封筒にて、

整理票を取り外さず、

11月14日(金)までに、ご返送ください。

(返送・問合せ先)

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

新宿区総合政策部 区政情報課 広聴係

電話 03-5273-4065 (直通)

FAX 03-5272-5500

令和7年度第4回新宿区区政モニターアンケート

令和8年2月発行

編集・発行

新宿区総合政策部区政情報課広聴係

東京都新宿区歌舞伎町1-4-1

電話(03)5273-4065(直通)

印刷物作成番号

2025-23-2106

この印刷物は、業者委託により100部印刷製本しています。その経費として、1部あたり935円(税込み)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。